NEC データプロジェクター

NEC

ViewLight® Mobile

ビューライト モバイル

NP62J/NP61J/NP52J/NP41J

取扱説明書［詳細版］

本機を安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずお読みください



はじめに

このたびは、NECデータプロジェクターNP62J/NP61J/NP52J/NP41J（以降「NP62J/NP61J/NP52J/NP41J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機は、パソコンやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。
万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本書は、NP62J/NP61J/NP52J/NP41J共通の取扱説明書です。NP61Jを主に説明しています。
本機には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

※ モデル名について
本機に貼付しているラベルでは、モデル名を「NP62」、「NP61」、「NP52」、または「NP41」と表記しています。
取扱説明書では、モデル名を「NP62J」、「NP61J」、「NP52J」、または「NP41J」と末尾に「J」を付けて表記しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。**

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

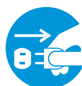
● 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に



● 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
・ コードの上に重い物をのせない
・ コードをプロジェクターの下敷きにしない
・ コードの上を敷物などで覆わない
・ コードを傷つけない、加工しない
・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
・ コードを加熱しない
電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

● 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

● 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
・ 風呂やシャワー室で使用しない
・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

⚠警告

次のような所では使用しない



● 次のような所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- 暖房の近くや振動の多い所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気の当たるような場所
- 調理台や加湿器のそば

内部に物を入れない



異物挿入禁止

● プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

● プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



● 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

● プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
● プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

● ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、60分間おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
詳細は 96 ～ 101 ページをご覧ください。

天吊りの設置について

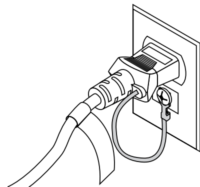


● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠注意

機器のアースは確実にとってください





● 本機の電源プラグはアースつき２芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は29 ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



● プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

動作中にレンズにふたをしない



● 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形することがあります。
● 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となることがあります。

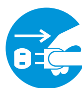
移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

● 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

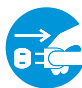
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

● 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



● 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になり、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。
  プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1 年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。
  特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

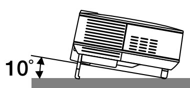


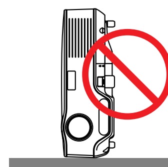
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙･ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター･カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（89 ページ）
- 標高約 1500m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - 添付のソフトケースに収納して運んでください。
  - レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
  - 振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
  - ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。

また、本機を使用しないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

- フォーカスセンサ部の汚れはふき取ってください。
フォーカスセンサ部に指紋や汚れが付くと、センサの感度が低下して動作範囲が短くなったり、フォーカスが合わなくなります。
- 廃棄について
本体の廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記載している指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- 交換用ランプには、冷却ユニットが添付されています。新しいランプに交換する際は、同時に冷却ユニットも新しいものに交換してください。冷却ユニットを交換しないと、本機の冷却能力が低下し故障の原因となります。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター･カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- ランプ点灯後約 1 分間（POWER インジケータが緑色で点滅中）は AC 電源を切断しないでください。ランプ交換時間 (目安)※が短くなります。
※保証時間ではありません。
- 投写中および電源を切ったあとの冷却ファン回転中に AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

目次

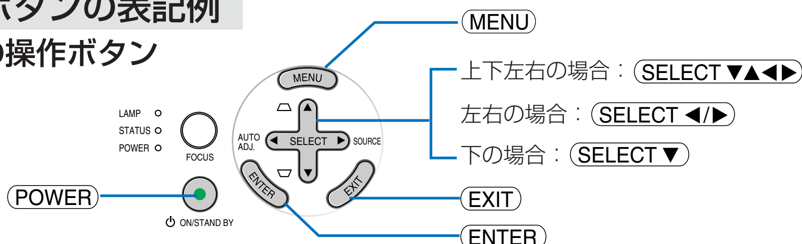
本書の表記について

マークの意味

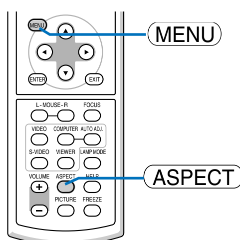
重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
➲	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

[プリセット]



参考

●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクター（本機） パソコンや DVD プレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 **レンズキャップ（24FT9983）** 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。
	リモコン（7N900841） 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単４乾電池２本をセットしてください。（➔ 22ページ） **単４乾電池２本** 添付のリモコンにセットします。
	電源コード（アース付き）（7N080118） AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。
	コンピュータ接続ケーブル（ミニ D-Sub 15ピン）（7N520052） パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。 （➔ 25ページ）
	マウスレシーバ（7N900722） パソコンのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。（➔ 54ページ）
	ソフトケース（24BS7901） 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。

次ページに続く

	User's Manual CD-ROM（7N951221） 取扱説明書[詳細版]（本書）がPDF (Portable Document Format)形式で収録されています。
	クイックスタートガイド（7N8P8911） 機器の接続、電源「オン」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。 **取扱説明書［簡易版］（7N8P8901）** 安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。 **保証書** プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。 **ビューライトクラブ申込書** ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

● DLP 方式の小型高輝度プロジェクター

DLP 方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。
また、0.3 ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。

●投写画面のフォーカスを自動的に合わせるオートフォーカス

本機の電源を入れたとき、および投写中に本体を動かしたりズームレバーを動かしたりしたときに、フォーカス調整を自動的に行います。

●投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

●ダイレクトパワーオフ

投写中および電源を切ったあとの冷却ファンの回転中に AC 電源を切断することができます。
AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

●オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。

- オートパワーオン（AC）……… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- オートパワーオン（COMP.）… 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- オートパワーオフ ……………… 設定した時間だけ信号入力がないと、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- オフタイマー …………………… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●コントロール ID が登録できるオプションリモコン NP02RC に対応

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコン（NP02RC）でプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

●壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いに補正することができます（壁色補正機能）。
これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

●無断使用を防止するセキュリティ機能

セキュリティキーワードを設定することにより、他人が無断で本機を使用できないようにすることができます。

●圧縮表示により UXGA までの解像度に対応

XGA（1024 × 768 ドット）にリアル対応、圧縮表示により UXGA（1600 × 1200 ドット）の入力信号までカバー。

●動画もきれいに再生できるコンポーネント信号に対応

コンピュータ映像入力端子に別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ（形名 ADP-CV1E）を接続しコンポーネント信号を入力すると、自動判別機能によりコンポーネント信号に自動的に切り替えます。DVD やハイビジョン放送など 16：9 のワイドサイズ映像もクリアに再生できます。

●USBメモリ内の画像や*Bluetooth*® 無線技術で送信した画像を投写するビューワを搭載（NP62J/NP52J）

NP62J/NP52J にはビューワを搭載しています。本機のUSBポートに市販のUSBメモリを挿すとUSBメモリ内の画像を投写できます。
また、別売の*Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を挿すと、*Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機へ画像を送信して投写できます。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

ズームレバー
投写した画面の大きさを微調整します。
（38ページ）

レンズ
ここから映像が投写されます。

レンズキャップ
レンズを保護します。

フォーカスセンサ部
オートフォーカスの距離を計測する部分です。
（38ページ）

チルトボタン
チルトボタンを押し上げるとチルトフットを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、チルトボタンから指を離します。
（37ページ）

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。
（22ページ）

本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
（18ページ）

排気口
内部の熱を排気します。

チルトフット
投写角度を調整します。チルトボタンを押し上げて上下に伸縮できます。（37ページ）

本体背面

盗難防止用ロック
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは次ページの参考をご覧ください。

接続端子部
各種映像信号のケーブルを接続します。（19ページ）

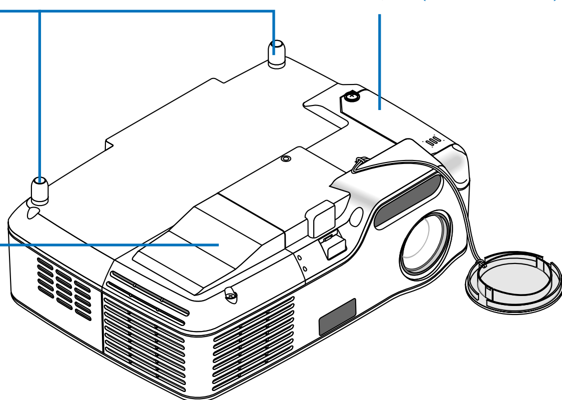
吸気口

AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
（29ページ）

スピーカ（モノラル）
音声入力端子（AUDIO IN）から入力された音声を出力します。

吸気口

本体底面



冷却ユニット
冷却ユニット交換のとき外します。（➡ 100ページ）

リアフット
リアフットを回して左右の傾きを調整します。
（➡ 37ページ）

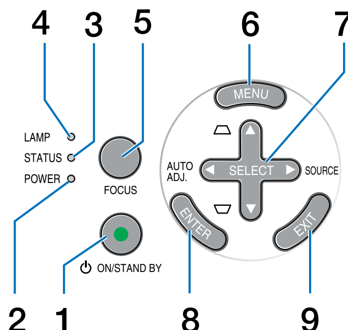
ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。（➡ 97ページ）

参考

●盗難防止用ロックについて
盗難防止用ロックは、キーケーブルロックなどのセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。
　日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
　〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
　Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

1
添付品や名称を確認する

本体操作部



1 **(POWER) ボタン**
本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を入れるときは、約1秒押します。
電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(POWER)(または(ENTER))ボタンを押します。

2 **POWERインジケータ**
電源が入っているときは緑色に点灯します。(➡ 31, 106ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 **STATUSインジケータ**
電源が切れているとき(スタンバイ状態)は緑色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。
また、本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(➡ 106ページ)

4 **LAMPインジケータ**
ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。
(➡ 107ページ)

5 **(FOCUS)ボタン**
短く押すと(SELECT ◀/▶)ボタンでフォーカス調整ができます。(➡ 40ページ)
長く押すと、オートフォーカスが働きます。
(➡ 38ページ)

6 **(MENU) ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(➡ 71ページ)

7 **(SELECT ▼▲◀▶)ボタン(SOURCEボタン、AUTO ADJ. ボタン、および台形補正ボタンを兼用)**
オンスクリーンメニューを表示しているとき
- (SELECT ▼▲◀▶)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
(➡ 71ページ)

オンスクリーンメニューを表示していないとき
- (SELECT ▶)(SOURCE) ボタンでコンピュータ、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ(NP62J/NP52Jのとき)の入力を切り替えます。(➡ 33ページ)
- (SELECT ◀)(AUTO ADJ.)ボタンでコンピュータ信号の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
(➡ 43ページ)
- (SELECT ▼/▲)ボタンで台形歪みの補正ができます。(➡ 41ページ)
- (MAGNIFY +/−)ボタンを使った画面拡大の表示位置の調整に使用できます。
(➡ 49ページ)



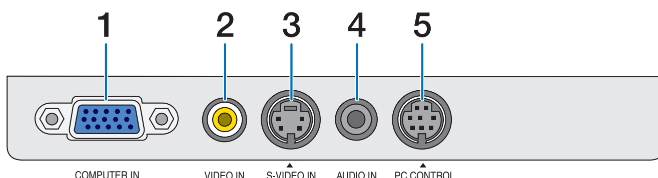
- NP62J/NP52Jでビューワを表示しているときは、本体の(SELECT ▼▲◀▶)ボタンを押しても「信号切り替え」、「自動調整」、および「台形補正」は働きません。

8 **(ENTER)ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

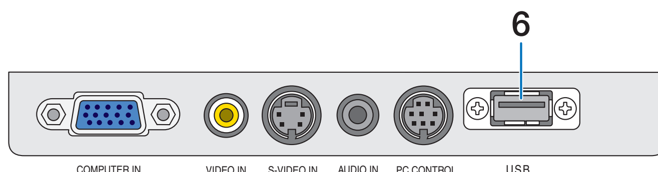
9 **(EXIT) ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部

NP61J/NP41J



NP62J/NP52J



1 コンピュータ映像入力端子（COMPUTER IN）（ミニD-Sub 15ピン）

パソコンのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。（➡ 25, 27 ページ）

2 ビデオ映像入力端子（VIDEO IN）（RCA-フォノ）

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。（➡ 26, 28ページ）

3 S-ビデオ映像入力端子（S-VIDEO IN）（ミニDIN-4ピン）

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。（➡26, 28ページ）

4 音声入力端子（AUDIO IN）（ステレオ・ミニ）

パソコンやDVDプレーヤの音声出力端子と接続します。

本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

5 PC コントロール端子（PC CONTROL）（ミニ DIN-8 ピン）

パソコンで本機を操作するときに使用します。

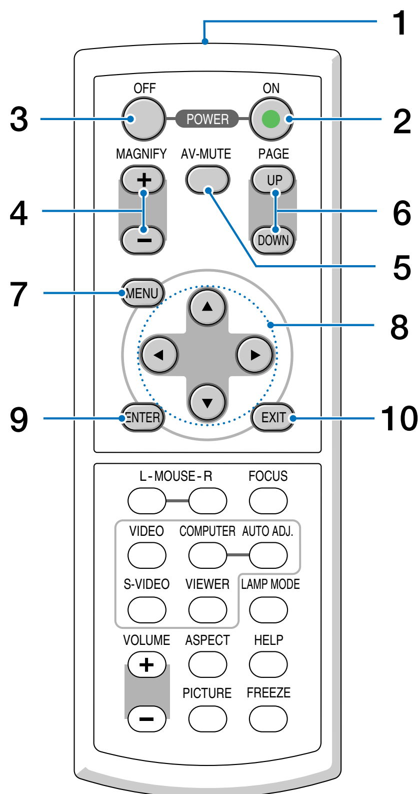
6 USB ポート（USB）（タイプ A）

市販のUSBメモリを挿すとビューワを使ってUSBメモリ内の画像を投写できます。（➡ 56ページ）

また、別売の*Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を挿すと、*Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機へ画像を送信し投写できます。（➡ 68 ページ）

（注）NP61J/NP41JにUSBポートはありません。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 POWER (ON) ボタン
約1秒押して、本機の電源を入れます。

3 POWER (OFF) ボタン
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度 (OFF) (または (ENTER)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

4 (MAGNIFY +/–) ボタン
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。

5 (AV-MUTE) ボタン
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

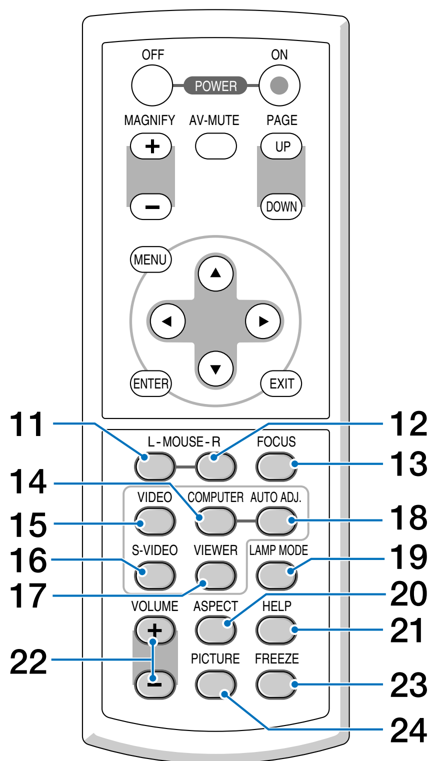
6 (PAGE UP/DOWN) ボタン
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。パソコン画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどの操作が行えます。(➡ 55 ページ)

7 (MENU) ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

8 (SELECT ▼▲◀▶) ボタン
オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/–) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。また、添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。
(➡ 71, 49, 55 ページ)

9 (ENTER) ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 (EXIT) ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



11 (MOUSE L) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。(55ページ)
マウスの左ボタンの動作をします。

12 (MOUSE R) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。(55 ページ)
マウスの右ボタンの動作をします。

13 (FOCUS) ボタン

短く押すと(SELECT ◀/▶) ボタンでフォーカス調整ができます。(40ページ)
長く押すと、オートフォーカスが働きます。(38ページ)

14 (COMPUTER) ボタン

コンピュータ入力(またはコンポーネント)を選択します。

15 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力を選択します。

16 (S-VIDEO) ボタン

S- ビデオ入力を選択します。

17 (VIEWER) ボタン

NP62J/NP52J ではビューワを起動します。
(注) NP61J/NP41J ではビューワは使用できません。

18 (AUTO ADJ.) ボタン

投写しているコンピュータ信号の画像を最適な状態に自動調整します。(43ページ)

19 (LAMP MODE) ボタン

ランプモードを切り替えます。(50 ページ)

20 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(82ページ)

21 (HELP) ボタン

情報画面を表示します。(92ページ)

22 (VOLUME +/−) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。

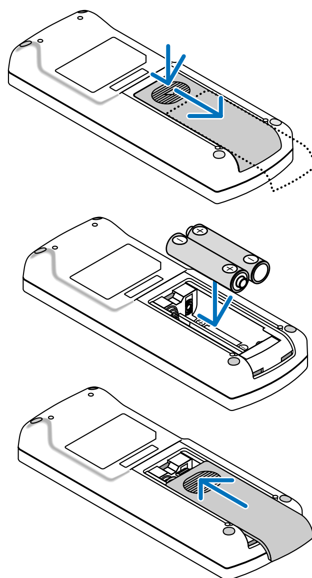
23 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(48 ページ)

24 (PICTURE) ボタン

ボタンを押すたびに、オンスクリーンメニューの[調整]→[ベーシック]にあるプリセット、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相の調整項目を順に表示します。(78, 80ページ)

●電池の入れかた



1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

2 ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

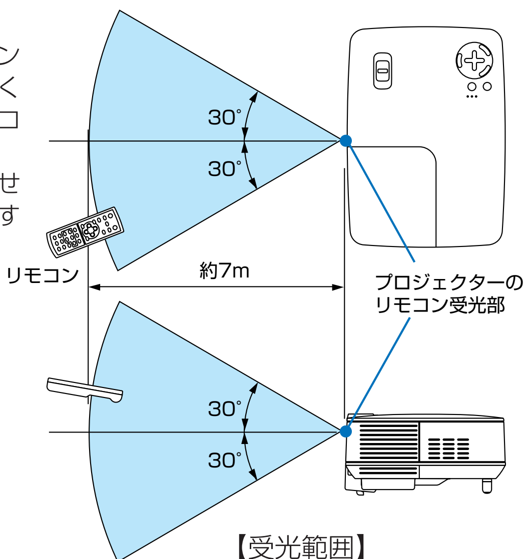
3 もとどおりにふたをする。



- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



【受光範囲】

（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。

ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する （24 ページ）



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクターに接続する

- パソコンと接続する場合 （25ページ）
- DVD プレーヤやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合（26, 27ページ）
- 書画カメラと接続する場合 （28ページ）



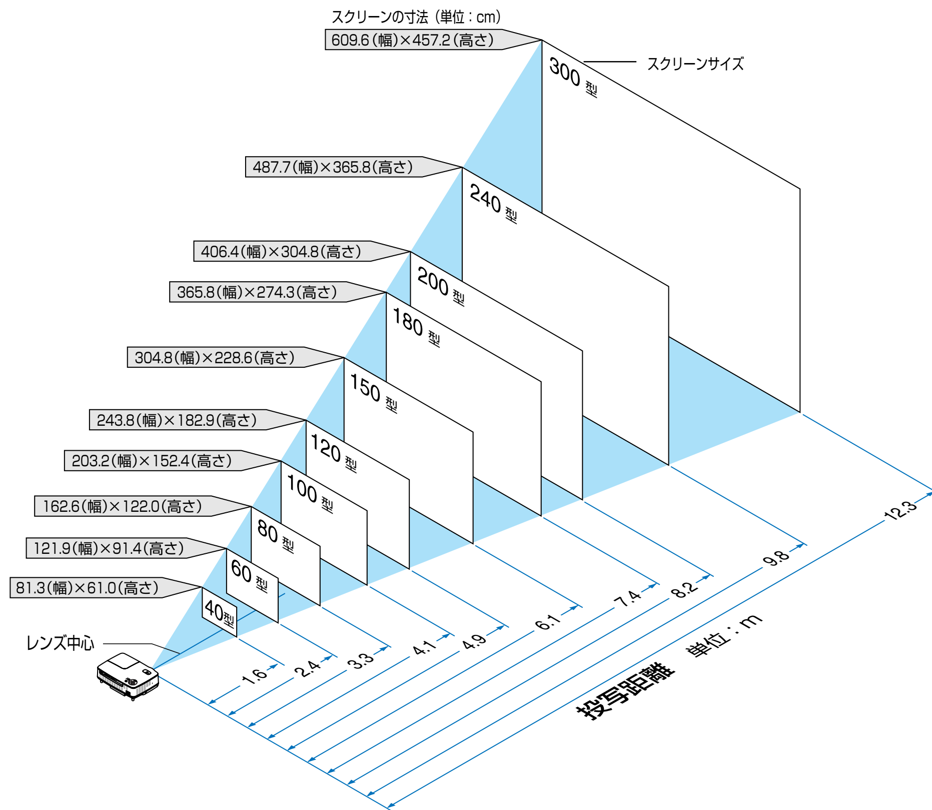
ステップ 3

電源コードを接続する （29 ページ）

2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。
プロジェクターのレンズ面をスクリーンの中心にまっすぐ向けてください。

例1： 100 型のスクリーンに投写する場合は、下図より4m離して設置します。
例2： スクリーンから6m 離してプロジェクターを設置すると、下図より約150 型の画面となります。

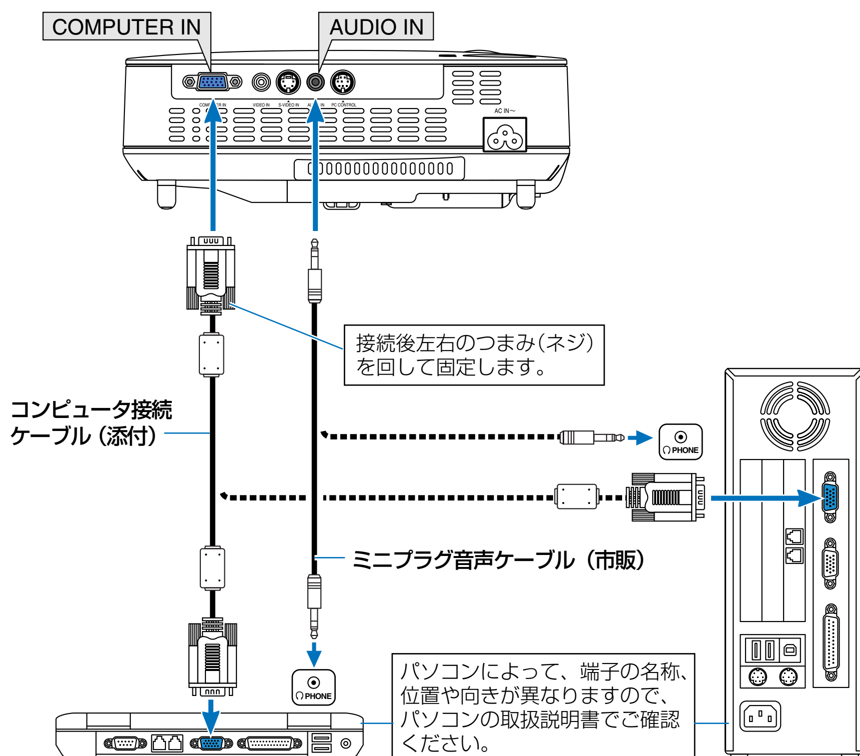


参考

- この図のスクリーン寸法は、ズームレバーのテレ（投写面積が最小）側とワイド（投写面積が最大）側の間の値です。
  ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約± 10%の範囲で変更することができます。
  なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。（➡ 108, 109ページ）
- 本体を動かしたり、ズームレバーを動かすと、オートフォーカスが働きます。（➡ 38ページ）
  また上下方向へ角度を変えると、台形歪みを自動的に補正します。（➡ 39ページ）

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)を、添付のコンピュータ接続ケーブルで接続します。



注意

- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 当社製のビデオユニット(形名 ISS-6020J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

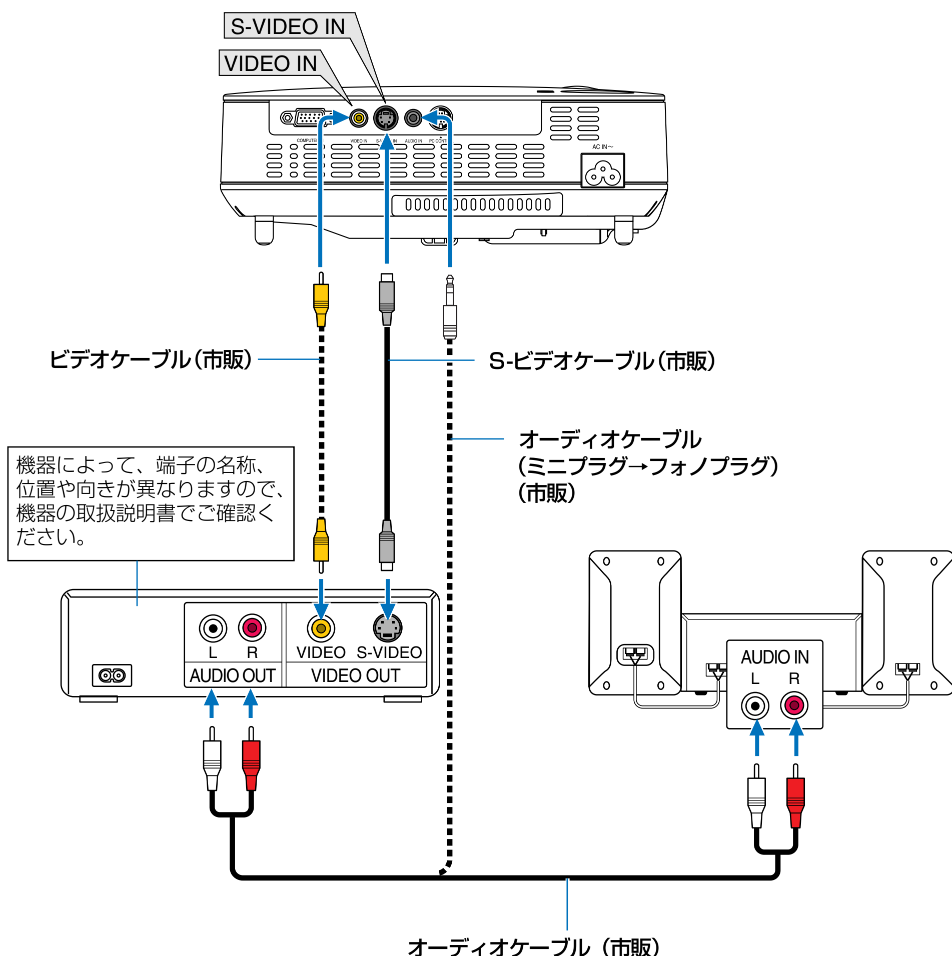
参考

- コンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています(DDC2B 対応)。
- Macintosh との接続では、Macintosh 用信号アダプタ(市販品)が必要になる場合があります。

2-4. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

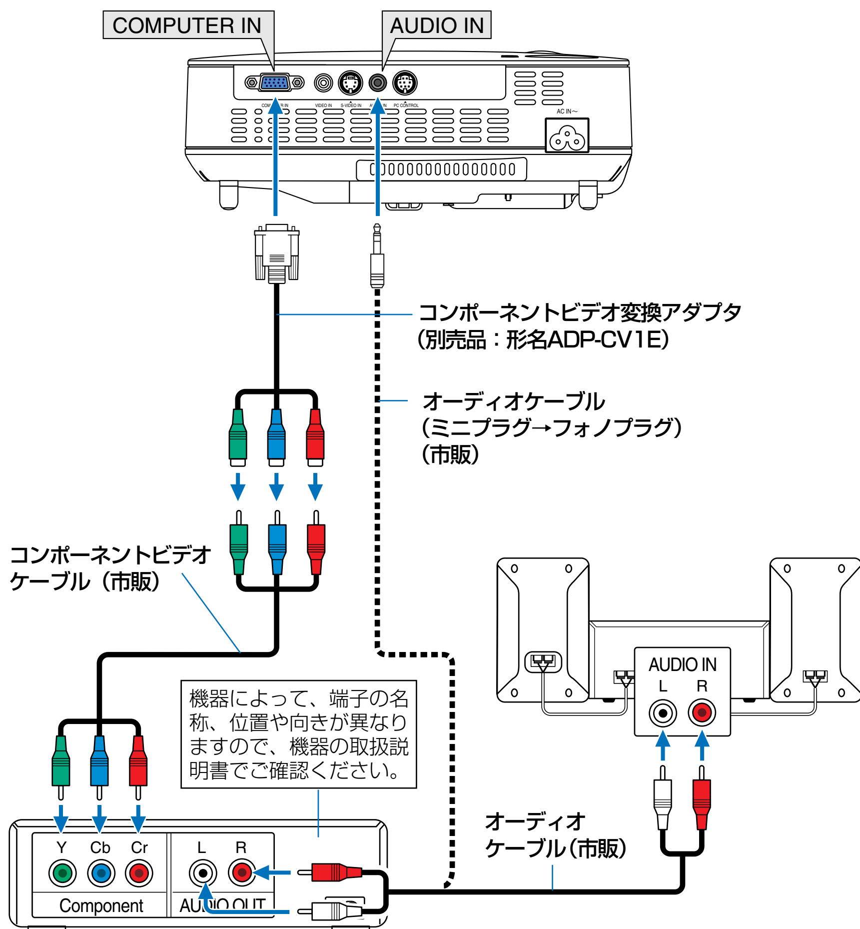
ビデオ信号／ S- ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。
本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



コンポーネント信号の接続

DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子（HD映像出力）を使って本機で投写することができます。
本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

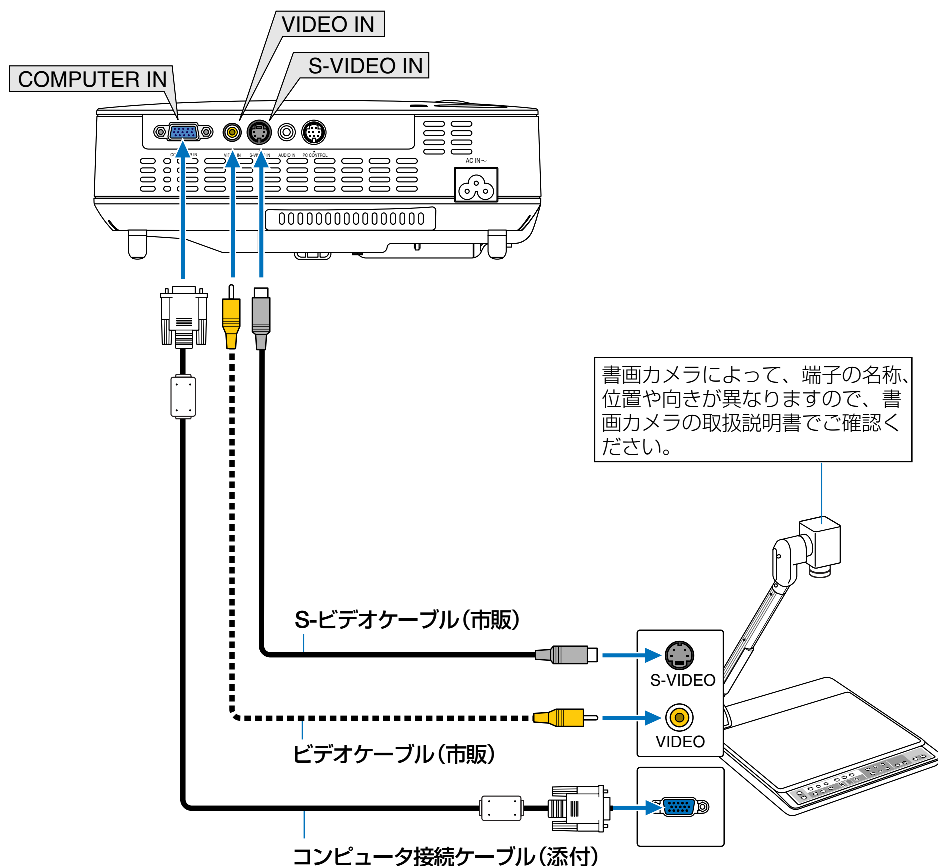


参考

- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ（形名ADP-DT1E）をお使いください。

2-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。

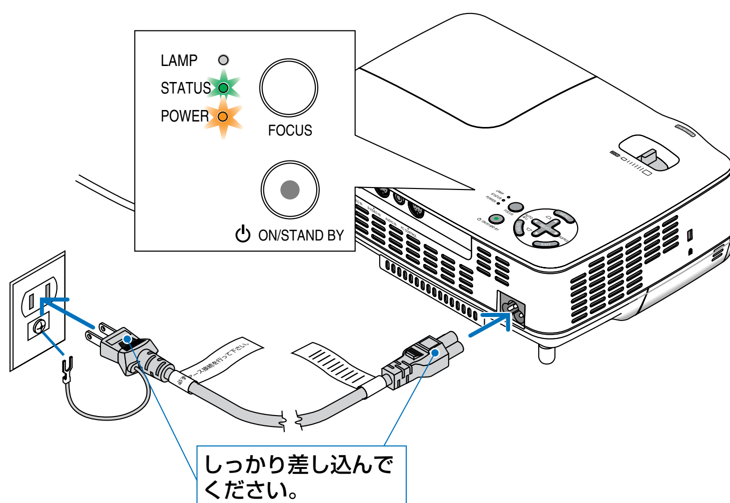


2-6. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コード（国内仕様）で接続します。

	機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。 アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機のPOWERインジケータがオレンジ色に点灯します(スタンバイ状態)。
また、STATUSインジケータが緑色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。



	● 投写中および冷却ファンの回転中に AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

3. 映像を投写する（基本操作）

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる（➡ 31 ページ）



ステップ 2

入力信号を選択する（➡ 33 ページ）



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する（➡ 36 ページ）



ステップ 4

パソコンの映像を自動調整する（➡ 43 ページ）



ステップ 5

プレゼンテーションを行う



ステップ 6

本機の電源を切る（➡ 45 ページ）



ステップ 7

あとかたづけ（➡ 46ページ）

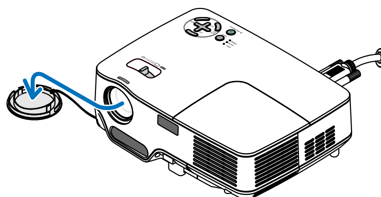
3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」（23 ページ）を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

注意

● ひもを持ってレンズキャップを引っ張らないでください。故障の原因となります。

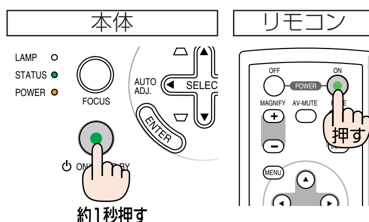


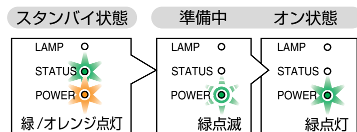
2 (POWER) ボタンを約1秒押す。

本機の電源が入り、しばらくしてスクリーンに映像が表示され始めます。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを約 1 秒押します。

・信号が入力されていないときは、ロゴ画面（NEC ロゴ：工場出荷状態）が表示されます。





インジケータが上記以外の点滅をしているときは、106 ページをご覧ください。

参考

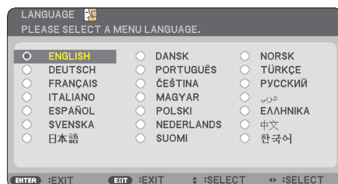
● 電源を入れたとき、オートフォーカスが働きます。（38ページ）

● 「本体キーロック中です。」が表示されたときは、本体キーロックが設定されています。（86ページ）

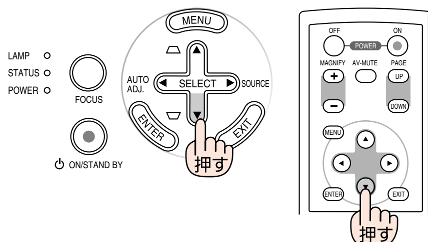
● 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（51ページ）

● (POWER) ボタンや (MENU) ボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（89ページ）

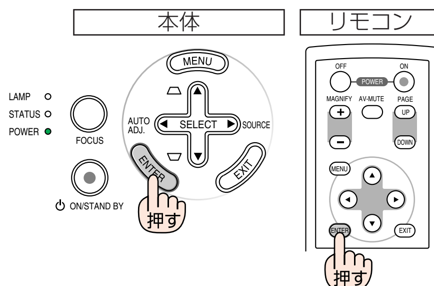
・ご購入後はじめて電源を入れたときは「LANGUAGE」画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。



❶ SELECT ▼▲◀▶ ボタンを押して、カーソルを[日本語]に合わせる。



❷ ENTER ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER ボタンを押しても電源が入りません。
  - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。
  - ・ランプ交換時間(目安)※に達した場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
  - ・電源を入れてもランプが点灯せず、STATUS インジケータが点滅(6 回周期の点滅)している場合は、1 分以上待って再度電源を入れてください。
- POWER インジケータが緑色で点滅しているときは電源を切ることができません。また、このときは AC 電源の切断もしないでください。ランプ交換時間(目安)※が短くなります。
  ※保証時間ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで(3 ～ 5 分)映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

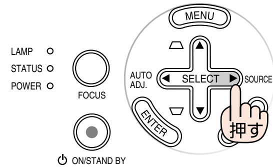
3-3. 入力信号を選択する

本体の操作ボタンで選択する

1 本機に接続しているパソコンやＤＶＤプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。

2 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(SELECT ▶) (SOURCE)ボタンを短く押す。



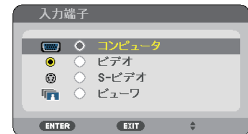
入力端子画面が表示されます。

・メニューを表示している場合は(EXIT)ボタンを押して、メニュー表示を消してから操作してください。



● NP62J/N52Jでビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、(SELECT ▶)(SOURCE)ボタンを押しても、入力端子は選択できません。

3 (SELECT ▶)ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。



※ この画面は NP62J/NP52J のものです。

ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

・しばらくすると選択した入力信号に切り替わります。



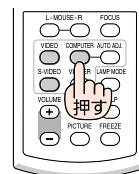
● (SELECT ▶)ボタンを2秒以上押すと、入力している信号を自動的に探します。
ただし、この操作で「ビューワ」は選択できません。

リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンや DVD プレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。

2 リモコンの(VIDEO)、(S-VIDEO)、(COMPUTER)ボタンを押す。



・NP62J/NP52Jは(VIEWER)ボタンを押すと、ビューワが起動します。

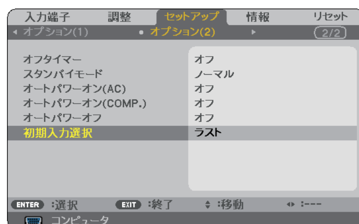
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［オプション (2)］→［初期入力選択］を選択する。

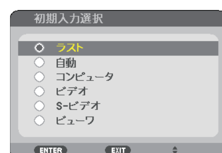
選択画面が表示されます。

・オンスクリーンメニューの操作については、「6-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。（71 ページ）



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



※ この画面は NP62J/NP52J のものです。

3 (EXIT) ボタンを 2 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

注意

● NP62J/NP52Jのとき、初期入力選択を「自動」に設定していても「ビューワ」は自動検出できません。
本機の電源を入れたときに「ビューワ」を自動的に選択するには、初期入力選択で「ビューワ」を選択してください。

参考

● 本機とパソコンをコンピュータ接続ケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、パソコンから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてパソコン画面を投写することができます（オートパワーオン（COMP.））。（91 ページ）

● 入力信号がないときは、ロゴ画面（NEC ロゴ：工場出荷状態）が表示されます。
DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。

● ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合
ノートパソコンの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。

・Windows の場合はファンクションキーを使います。
[Fn] キーを押したまま（⌐/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn ＋ F4	HP
Fn ＋ F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn ＋ F7	SONY、IBM、HITACH、Lenovo
Fn ＋ F8	DELL、EPSON
Fn ＋ F10	FUJITSU

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

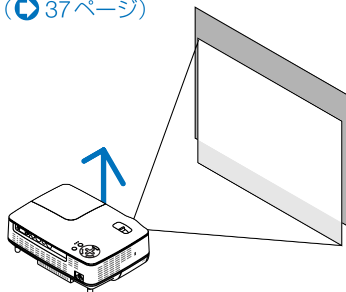
・Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
・それでも投写しない場合は、オンスクリーンメニューが消えている状態で (SELECT ▶) (SOURCE)ボタンを２秒以上押してみてください。

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

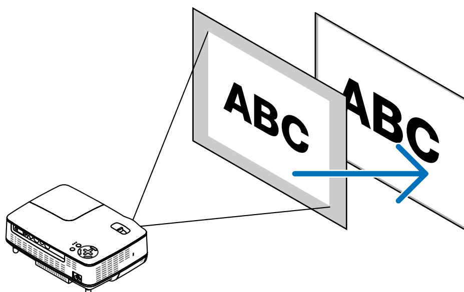
チルトフットやズームレバーなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

●手動で調整

投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整【チルトフット／リアフット】（37ページ）

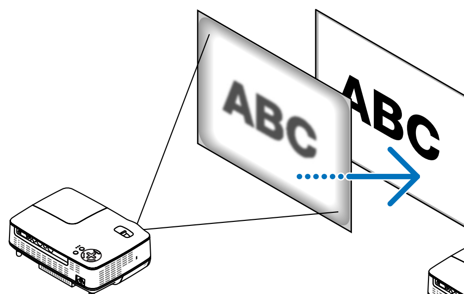


投写画面の大きさの微調整【ズームレバー】（38ページ）



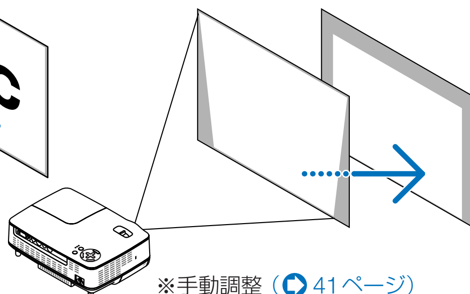
●自動で調整

自動的に投写画面のフォーカス調整を行います（動作範囲 1.5 ～ 5.5m）。
【オートフォーカス】（38ページ）



※手動調整（40ページ）

投写角度を変えると自動で投写画面の台形歪みを補正します。
【自動台形補正】（39ページ）

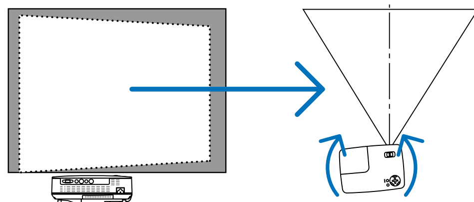


※手動調整（41ページ）

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

参考

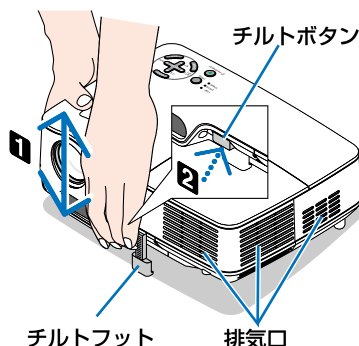
水平方向の画面の歪みは、本体が横に向いていますので、スクリーンにまっすぐ向けてください。



投写角度（投写画面の高低）と左右の傾き調整（チルトフット／リアフット）

1 本機の前部を持ち上げスクリーンに合わせる。

注意
- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。
  チルトフット調整の際はご注意ください。



2 チルトボタンを押し上げる。

チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

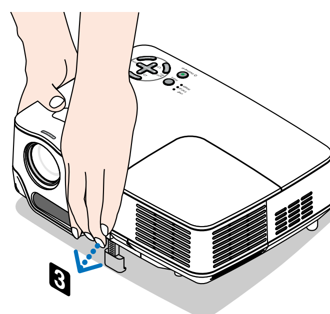
3 角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

上下位置を決めると約 2 秒後に台形歪みが自動的に補正されます。詳しい説明は39 ページ「自動台形補正」をご覧ください。

・チルトフットは、最大 25mm 伸ばすことができます。

・チルトフットにより、最大 10° 本機を傾けることができます。

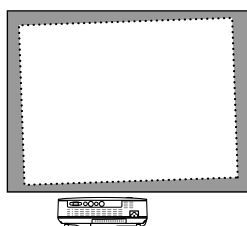


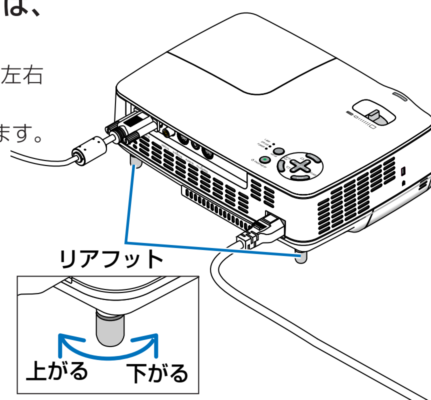
注意
- チルトフットは、本機の投写角度以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

4 投写画面の左右が傾いている場合は、リアフットを回して微調整する。

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを微調整できます。

•リアフットは、最大4mm伸ばすことができます。





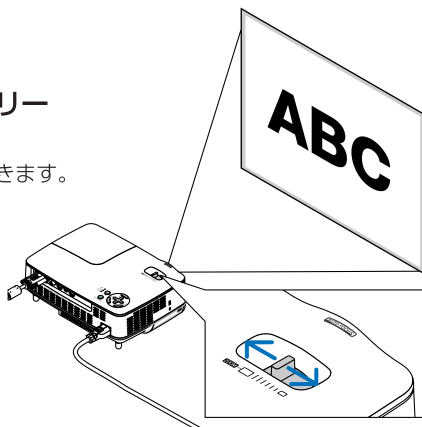
3

映像を投写する（基本操作）



● リアフットは 4mm 以上伸ばさないでください。無理に伸ばそうとすると、リアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。

投写画面の大きさの微調整



1 ズームレバーを左右に動かしてスクリーン面いっぱいに投写する。

ズームレバーを動かすとオートフォーカスが働きます。

詳しくは、このページの「オートフォーカス」をご覧ください。
・本体を前後に移動しても大きさが変わります。
・上下位置がずれた場合は、チルトフットを調整してください。

自動補正機能について

●オートフォーカス

フォーカスセンサ部とスクリーン間の距離を測定して投写画面のフォーカスを自動的に合わせます。これを「オートフォーカス」と呼びます。

● オートフォーカスは次のタイミングで働きます。
・電源を入れたとき
・ズームレバーを動かしたとき
・本体を動かしたとき
・投写角度を変えたとき

● スクリーン（4：3）に投写する場合の動作範囲
次の投写距離または画面サイズの範囲でオートフォーカスが働きます。

投写距離	画面サイズ	
	テレ（ズーム最小）	ワイド（ズーム最大）
1.5m（最短）	33 型	40 型
5.5m（最長）	123 型	149 型

約5.5mを超える設置など動作範囲以外の場合は、フォーカスを手動で合わせてください。
（40ページ）



● スクリーンの色や環境条件によっては動作範囲が狭くなったり、正しく動作しない場合があります。
● 透過スクリーンでは誤動作します。
● フォーカスセンサ部とスクリーン間を障害物でさえぎられていると誤動作します。
● 本体をゆっくり移動した場合は動作しません。
● スクリーンを移動した場合は動作しません。

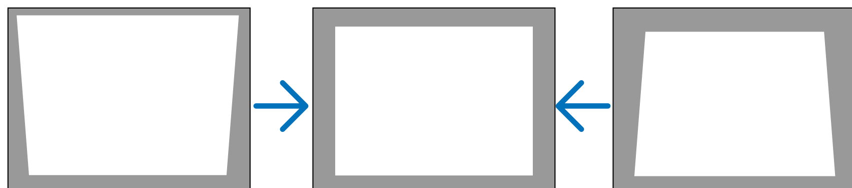


● オートフォーカスを行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［オプション（1）］→［オートフォーカス］を「オフ」に設定します。（88 ページ）

●自動台形補正

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写しないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。しかし、本機の場合は、本体の上下の傾きを感知して、画面の歪みを自動的に補正します。これを「自動台形補正」と呼びます。

自動台形補正が正しく機能するよう設置の際は、以下の点をご確認ください。



・自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約 2 秒後に行われます。
・左右の傾き（水平方向の画面の歪み）には、対応していません。
　プロジェクターのレンズ面が、スクリーンに平行になるように設置してください。
　また、リアフットは左右の高さが水平になるように調整してください。

注意

- スクリーンが傾いていたり、室温が極端に高温または低温のとき、またレンズのズームを小さくしているときは、自動台形補正できちんと調整できない場合があります。自動台形補正はズームを最大にしているときに最適となるように調整しています。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては補正角度が少なくなる場合があります。
- ［自動台形補正］は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

参考

- 自動台形補正を行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［全般］→［自動台形補正］を「オフ」に設定します。（➡ 84 ページ）
「オフ」に設定した場合は、手動で台形補正を行ってください。（➡ 41 ページ）

3-5. フォーカスを手動で調整する

オートフォーカスの動作範囲外に設置する場合、フォーカスを微調整する場合、またはオンスクリーンメニューの[オートフォーカス]を「オフ」に設定している場合はフォーカスを手動で調整します。

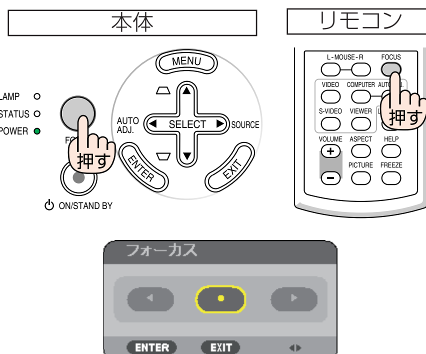
1 (FOCUS) ボタンを短く押す。

フォーカス調整画面が表示されます。

・約5秒間ボタン操作をしなければ、フォーカス調整画面は自動的に消えます。

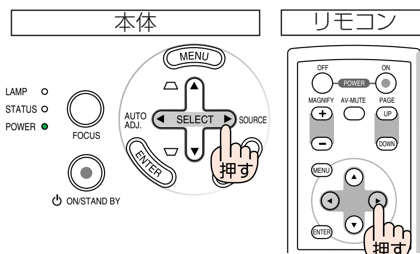
参考

● フォーカス動作範囲内のときは、(FOCUS) ボタンを2秒以上押すとオートフォーカスが働きます。



2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

フォーカスを調整します。



3 (EXIT) ボタンを押す。

フォーカス調整画面が消えます。

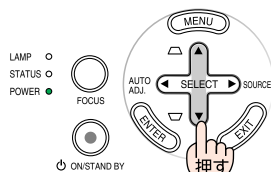
3-6. 台形歪みを手動で調整する

自動台形補正の結果を微調整する場合、またはオンスクリーンメニューの［自動台形補正］を「オフ」に設定している場合は、台形歪みを手動で調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

調整バーが表示され、台形歪みが調整されます。





注意
- NP62J/N52Jでビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、(SELECT ▼/▲) ボタンを押しても、調整バーは表示されません。

2 (EXIT) ボタンを押す。

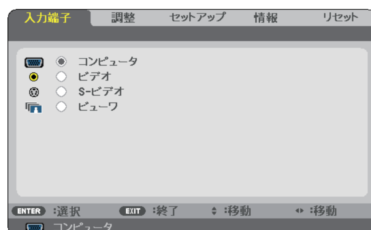
調整バーが消えます。

リモコンを使って調整する

1 (MENU) ボタンを押す。

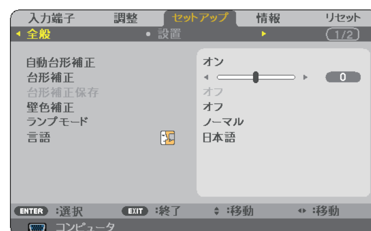
オンスクリーンメニューが表示されます。

※右の画面は NP62J/NP52J のものです。

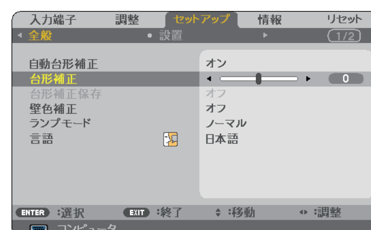


2 (SELECT ▶) ボタンを押して、［セットアップ］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

全般画面が表示されます。

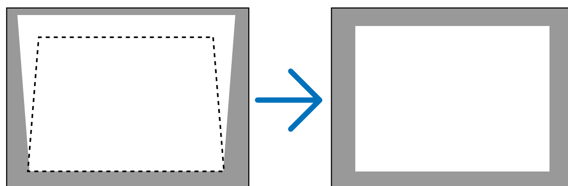


3 (SELECT ▼) ボタンを押して、［台形補正］にカーソルを合わせる。



4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

画面の左右が垂直になるように調整します。



5 調整が終わったら、(EXIT) ボタンを2回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

注意

- ［台形補正］は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

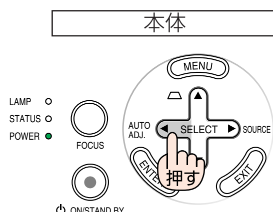
参考

- 台形補正は、上下約40˚の傾きまで対応します。
  ただし、本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内(0 ～ 10˚)にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。
- ［自動台形補正］を「オフ」に設定しているときに、手動で調整した値は、［台形補正保存］で保存しておくことができます。(84ページ)

3-7. パソコンの映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、(AUTO ADJ.) ボタンを押して画質を調整します。

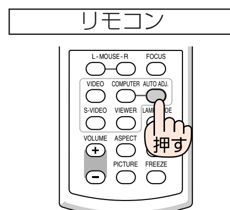
本体の操作ボタンで調整する



1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(SELECT ◀)（AUTO ADJ.）ボタンを押す。

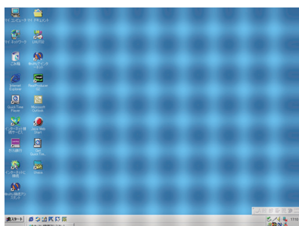
しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

リモコンを使って調整する



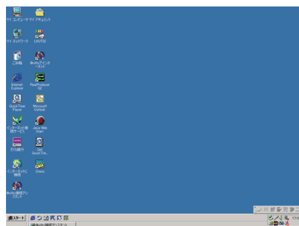
1 (AUTO ADJ.) ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】





【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューの［クロック周波数］、［位相］、［水平］、［垂直］で画面の調整を行ってください。（➡ 81 ページ）
  ［クロック周波数］、［位相］、［水平］、［垂直］で画面を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号（解像度、水平・垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューの［リセット］→［表示中の信号］または［全データ］を行ってください。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、104 ページを参照してください。

3-8. 本機の音量を調整する

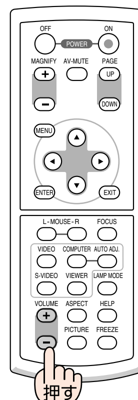
本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

1 リモコンの(VOLUME +/−)ボタンを押す。

調整バーが表示されます。



＋側……音量が大きくなります。
－側……音量が小さくなります。



注意

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［オプション（1）］の［ビープ音］を「オフ」にしてください。（➡ 89 ページ）

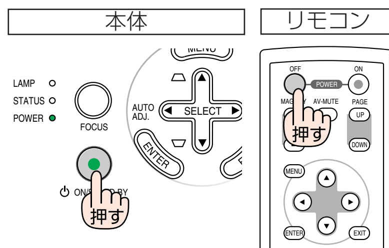
参考

- 工場出荷時、音量は16 に設定されています。
- オンスクリーンメニューの［調整］→［ベーシック］の［音量］で調整することもできます。（➡ 80ページ）

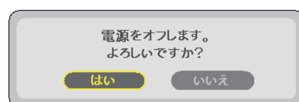
3-9. 本機の電源を切る

1 (POWER)ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



電源オフ確認メッセージが表示されます。



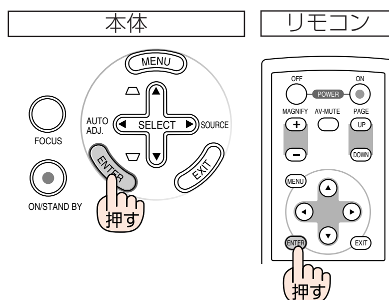
2 (ENTER) ボタンを押す。

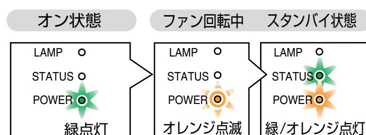
ランプが消灯し、冷却ファンがしばらく回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、POWERインジケータがオレンジ色で点灯します。また、STATUSインジケータが緑色で点灯します（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）。

・(ENTER)ボタンの代わりに、(POWER)ボタンまたはPOWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。

・電源を切らない場合は、(SELECT ◀/▶) ボタンで「いいえ」を選んで(ENTER)ボタンを押します。







● 投写中および冷却ファンの回転中にAC電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



● 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約10秒間は、AC電源を切断しないでください。この間にAC電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

3-10. あとかたづけ

1 電源コードを取り外す。

2 各種信号ケーブルを取り外す。

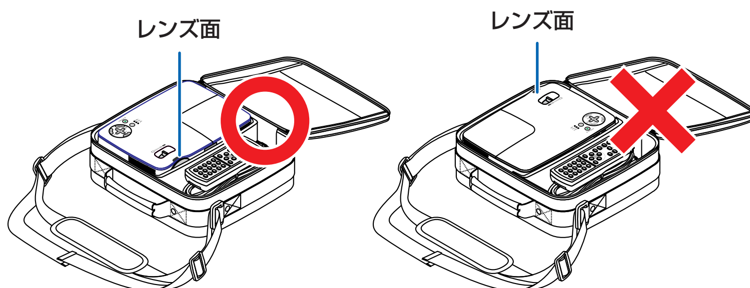
・本機にUSBメモリ、または*Bluetooth*® USB アダプタを挿している場合は取り外してください。

3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

4 レンズにレンズキャップを取り付ける。

5 本機、および添付品を、ソフトケースに収納する。

レンズに衝撃が加わるのを防止するため、レンズ面を内側にして収納してください。





- 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。
  故障の原因となります。

⚠ 注意	● 電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

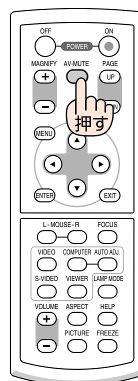
4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (AV-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカから出力されている音声が一時的に消えます。

・もう一度 (AV-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



注意

● ビープ音は (AV-MUTE) ボタンを押しても消えません。
ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [オプション (1)] の [ビープ音] を「オフ」にしてください。(89 ページ)

参考

● 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

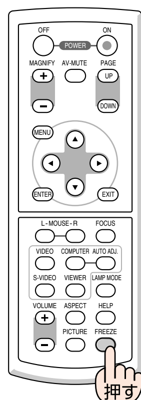
4 便利な機能

4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの(FREEZE) ボタンを押す。

DVDプレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・もう一度(FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。





●NP62J/NP52J でビューワ表示中は、(FREEZE) ボタンは働きません。



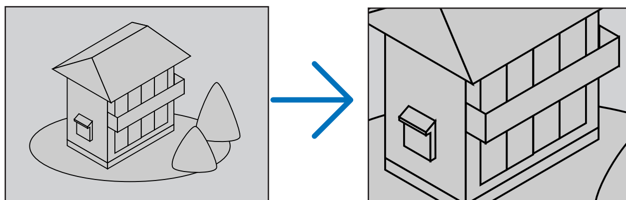
● (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を本機のメモリに保存し、メモリ内の画像(静止画)を投写します。静止画表示中、DVDプレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

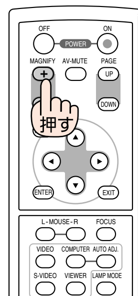
4-3. 映像を拡大する

1 リモコンの (MAGNIFY＋) ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

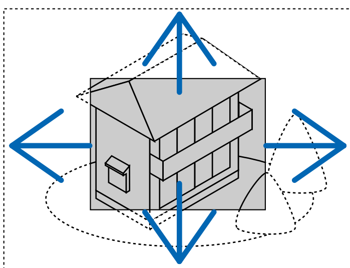
・最大４倍まで拡大できます。

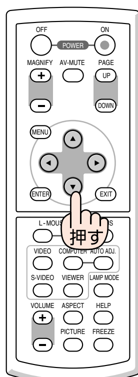




2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。





3 (MAGNIFY －) ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。

・もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。



● 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
また、［アスペクト］で「ワイドズーム」を設定しているときは、4 倍まで拡大できないことがあります。



●拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。

●画面を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

4

便利な機能

4-4. ランプモードを切り替える

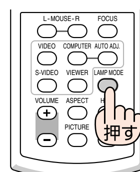
小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎるときや、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコ」にし、ランプ交換時間（目安）※を延ばすことができます。

ランプモードの種類	ランプの輝度	LAMP インジケータの状態
ノーマル	ランプの輝度（明るさ）が 100% になります。 明るい画面になります。	消灯 LAMP STATUS POWER
エコ	ランプの輝度（明るさ）が次のようになります。 NP62J/NP61J …… 約 75% NP52J/NP41J …… 約 85% ランプ交換時間（目安）※が延びます。 ランプの輝度（明るさ）が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。	緑色で点灯 LAMP STATUS POWER

※保証時間ではありません。

1 リモコンの(LAMP MODE) ボタンを押す。

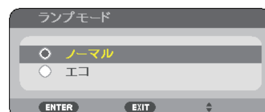
ランプモード選択画面が表示されます。



2 (SELECT ▼/▲) ボタンでランプモードを選択し、(ENTER)ボタンを押す。

ランプモードが切り替わります。

・ランプモードをもとに戻す場合は、手順 1 2 を繰り返します。



注意

- オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[全般]→[ランプモード]でもランプモードを切り替えることができます。
- ランプ残量／ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの[情報]→[使用時間]で確認できます。（➡ 92ページ）
- 電源を入れた直後の約1分間は、常にノーマルモードになります。また、この間は[ランプモード]の設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態(ロゴ表示、ブルーバック、またはブラックバックのとき)のまま約1分経過すると、自動的にエコモードに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知すると[ランプモード]はもとの状態に戻ります。
- ノーマルモードで使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

  強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「🌡」アイコンが表示されます。

  室温を下げたり、[ファンモード]（➡ 89ページ）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。

  強制エコモード中は、[ランプモード]の設定を変更しても、状態は変わりません。

4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

セキュリティを有効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

2 (SELECT ▶) ボタンで[セットアップ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[全般]にカーソルが移動します。



3 (SELECT ▶) ボタンを押して[設置]にカーソルを合わせる。

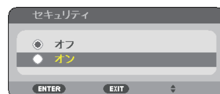
4 (SELECT ▼) ボタンを押して[セキュリティ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティ設定画面に変わります。



5 (SELECT ▼) ボタンで「オン」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



6 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



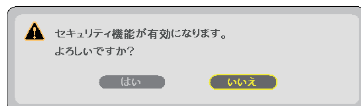
重要
- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



7 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、(ENTER) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



8 (SELECT ◀/▶) ボタンで[はい]を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

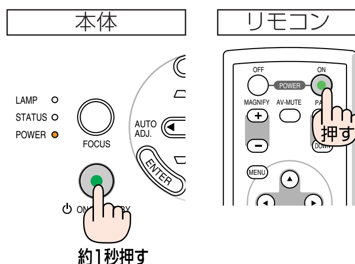
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 (POWER) ボタンを約1秒押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを約1秒押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



2 (MENU) ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



3 セキュリティキーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。





●セキュリティロックの解除状態は、AC電源が切断されるまで保持されます。

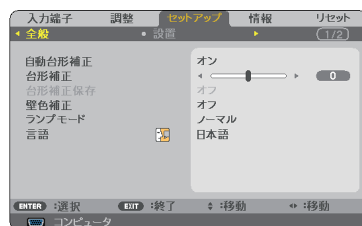
セキュリティを無効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 (SELECT ▶) ボタンで[セットアップ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

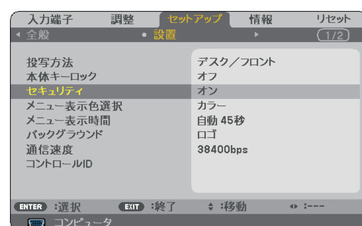
[全般]にカーソルが移動します。



3 (SELECT ▶) ボタンを押して[設置]にカーソルを合わせる。

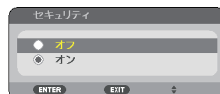
4 (SELECT ▼) ボタンを押して[セキュリティ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティ設定画面に変わります。



5 (SELECT ▲) ボタンで「オフ」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



6 セキュリティキーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティが無効になります。



参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口（NECプロジェクター・カスタマサポートセンター ➡ 裏表紙）にご連絡ください。

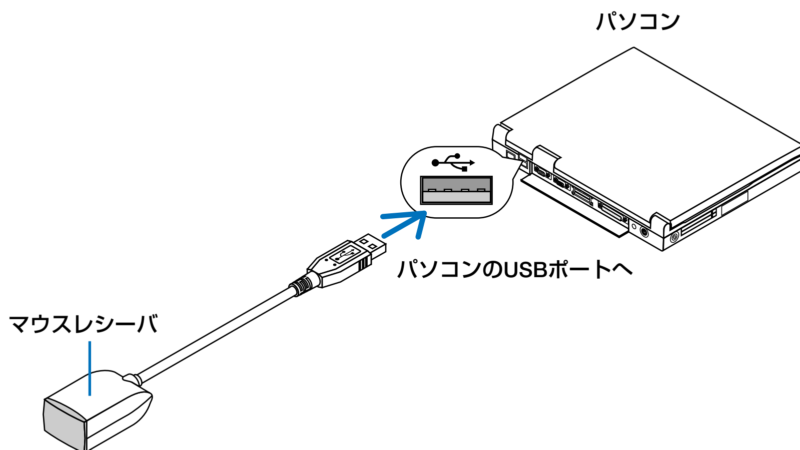
4 便利な機能

4-6. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

添付のマウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンの USB ポート（タイプ A）に差し込みます。



注意

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。
  Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98
  Mac OS X10.0.0 以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、(PAGE UP/DOWN) ボタンは働きません。
- パソコンの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン …… マウスポインタを移動します。
- (MOUSE L) ボタン ………… マウスの左クリックの働きをします。
- (MOUSE R) ボタン ………… マウスの右クリックの働きをします。

注意

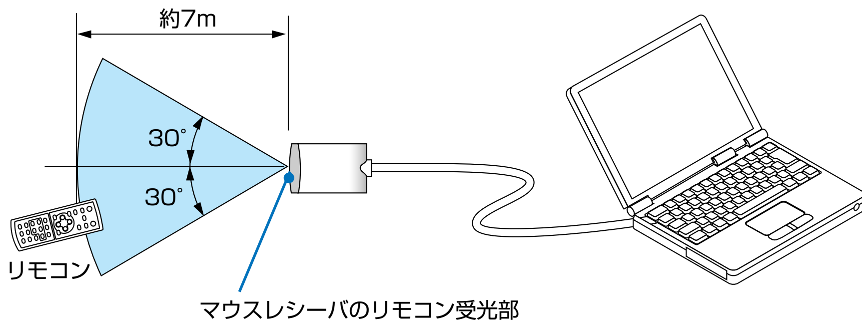
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT ▼▲◀▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS用のPowerPointを使用しているときは、(PAGE UP/DOWN)ボタンは働きません。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプか取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
  ① マウスポインタでアイコンを選択する。
  ② (MOUSE L)(または(MOUSE R))ボタンを2～3秒間押し続けて離す。
  ドラッグモードになります。
  ③ (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。
  選択したアイコンが移動します。
  ④ (MOUSE L)(または(MOUSE R))ボタンを押す。
  アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
  ・ドラッグモードを解除するには、(MOUSE R)(または(MOUSE L))ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。

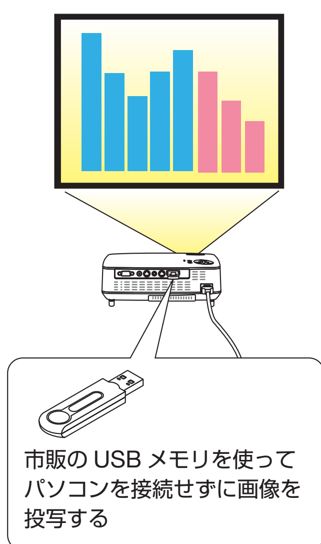


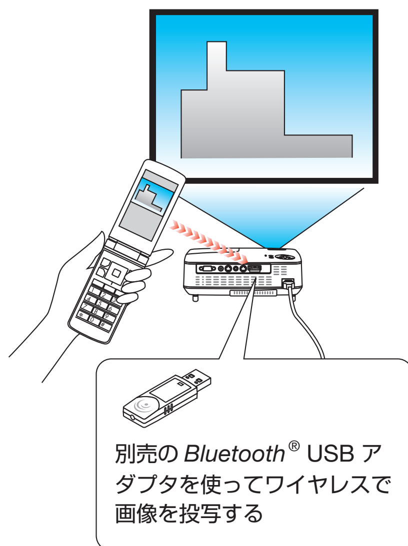
5. ビューワを使う（NP62J/NP52J）

5-1. ビューワでできること

NP62J/NP52J にはビューワを搭載しています。
ビューワには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリを本機の USB ポート（タイプ A）に挿すと、USB メモリ内の画像を本機で投写することができます。これにより、パソコンを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワで投写できる画像の種類は、GIF、JPEG、PNG、BMP です。
- ビューワではサムネイル表示が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドショー）は、手動操作で切り替える方法（手動再生）と、自動的に切り替える方法（自動再生）があります。また、自動再生のときは画像の切り替え時間を変更できます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、ファイル種別、日付、サイズで指定でき、昇順・降順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。
- 別売の *Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を本機の USB ポート（タイプ A）に挿すと、*Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機に対してワイヤレスで画像を送信し投写できます。





注意

- NP61J/NP41Jではビューワは使用できません。
- 本機のUSBポートは、USBハブには対応していません。そのため、USBメモリと *Bluetooth*® USB アダプタを同時に使用することはできません。
- ビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、プロジェクター本体の次のボタン操作はできません。
  - ・(SELECT ▼/▲) ボタンによる台形補正
  - ・(SELECT ◀)(AUTO ADJ.)ボタンによる自動調整
  - ・(SELECT ▶)(SOURCE)ボタンによる入力切り替え

  ビューワ表示中に台形補正および入力切り替えを行う場合は、(MENU) ボタンを2回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。
- ビューワ表示中は、リモコンの(FREEZE) ボタンは働きません。
- オンスクリーンメニューで[リセット]→[全データ]を行うと、ビューワのオプションメニューの設定は工場出荷状態に戻ります。

- USBメモリについて
  - ・本機のビューワで使用するUSBメモリは、FAT32形式、FAT16形式、または FAT12形式でフォーマットしてください。
    本機は、NTFS形式でフォーマットされたUSBメモリを認識できません。
    本機に挿したUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
    フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
  - ・本機のUSBポートは、市販されているすべてのUSBメモリの動作を保証するものではありません。

- 対応画像について
  - ・ビューワで投写できる画像は次のとおりです。

画像の種類	拡張子	制限事項
GIF	GIF	インターレース、透過、およびアニメーションには対応していません。
JPEG	JPG/JPE/JPEG	CMYK、プログレッシブには対応していません。
PNG	PNG	インターレース、αチャンネルには対応していません。
Windows Bitmap	BMP	–

  - ・本機で投写できる最大解像度は、4000×4000ピクセルです。
  - ・上記の条件を満たしている画像であってもビューワで投写できない場合があります。

- １つのフォルダ内のファイル数が300を超える場合、ビューワでは表示できません。
- １つのフォルダ内のファイル数が多いと、画面を切り替えるのに時間がかかります。画面の切り替えを速くするには、１つのフォルダ内のファイル数を減らしてください。

5-2. USBメモリ内の画像を投写する(基本操作)

ここでは、ビューワの基本操作を説明します。ビューワのオプションメニュー(➡64ページ)が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

- ・ビューワを起動する ……………………このページ
- ・本機からUSBメモリを取り外す ………60ページ
- ・ビューワを終了する ……………………61ページ

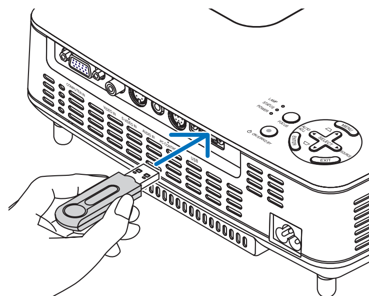
準備：パソコンを使って複数の画像をUSBメモリに保存してください。

ビューワを起動する

1 本機の電源を入れる。(➡31ページ)

2 本機のUSBポートにUSBメモリを挿す。

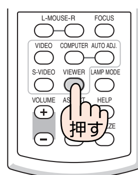
・本機からUSBメモリを取り外すときは、サムネイル画面で(MENU)ボタンを押して「USBデバイスを取り外す」を選択してください。(➡60ページ「本機からUSBメモリを取り外す」の手順1)

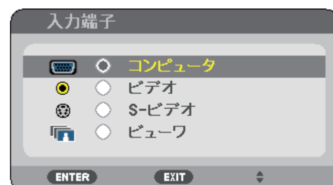


3 (SELECT ▶) (SOURCE) ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

・リモコンの場合は(VIEWER)ボタンを押します。ビューワが起動しUSBメモリ内の画像が投写されます（スライド画面）。手順5に進みます。

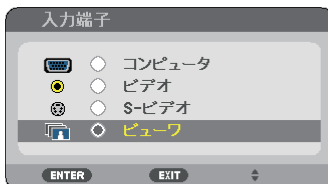




4 (SELECT ▶) (SOURCE) ボタンを3回押して「ビューワ」にカーソルを合わせる。

(SELECT ▶)ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

・このとき(SELECT ▶)ボタンは長押ししないでください。(SELECT ▶)ボタンを2秒以上押すと、入力信号の自動検出を行います。



「ビューワ」にカーソルを合わせたまましばらくすると、ビューワが起動しUSBメモリ内の画像が投写されます（スライド画面）。



5 (SELECT ▶) ボタンを押す。

次の画像が投写されます。

6 (SELECT ◀) ボタンを押す。

前の画像が投写されます。

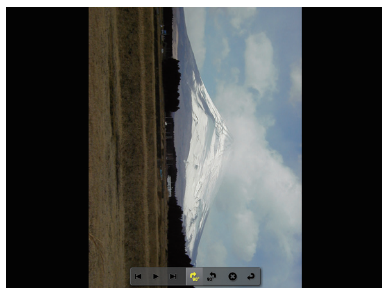
7 (MENU) ボタンを押す。



コントロールバーが表示されます。

- コントロールバー表示中に(MENU)ボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度(MENU)ボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
- コントロールバー表示中に(EXIT)ボタンを押すと、コントロールバーは消えます。

8 (SELECT ▶) ボタンを押して 90° にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



画像が時計回りに 90°回転します。

- この状態で(ENTER)ボタンを押すごとに、画像が時計回りに 90°回転します。

9 (SELECT ▶) ボタンを押して ⊗ にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

コントロールバーが消えます。

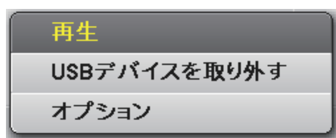
10 (EXIT) ボタンを押す。



サムネイル画面に変わります。

- 手順 7 のコントロールバーで ↩ にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押してもサムネイル画面に変わります。
- サムネイル画面からスライド画面に戻す場合は、スライド表示する画像にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

本機からUSBメモリを取り外す



1 サムネイル画面で(MENU)ボタンを押す。

画面左下にポップアップメニューが表示されます。

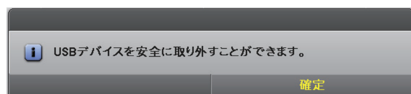
・ポップアップメニュー表示中に(MENU)ボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度(MENU)ボタンを押すと、入力端子画面は消えます。

・ポップアップメニュー表示中に(EXIT)ボタンを押すと、ポップアップメニューは消えます。

2 「USBデバイスを取り外す」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

画面中央に確認メッセージが表示されます。

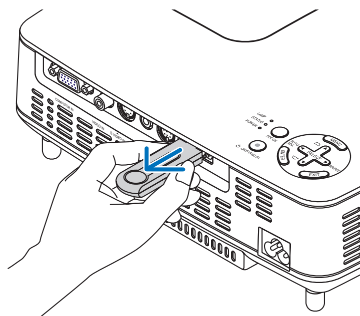
3 USBメモリを取り外す場合は、(SELECT ◀)ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。



画面中央のメッセージ表示が変わります。

4 (ENTER)ボタンを押す。

5 本機からUSBメモリを取り外す。





● メニューで「USBデバイスを取り外す」を実行せずに本機からUSBメモリを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。

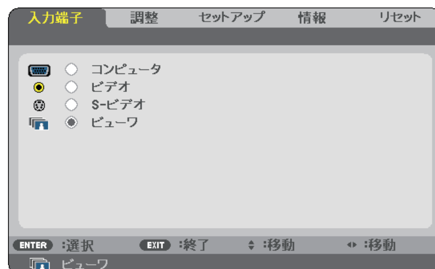
ビューワを終了する

1 スライド画面またはサムネイル画面で MENU ボタンを押す。

コントロールバーまたはポップアップメニューが表示されます。

2 もう一度 MENU ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

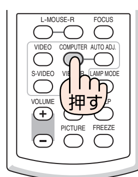


3 「ビューワ」以外の入力端子にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

ビューワが終了します。

参考

● リモコンで操作する場合は、「VIEWER」以外の入力端子を選択すると、ビューワが終了します。



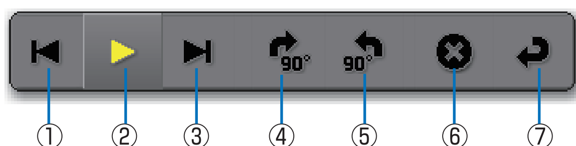
ビューワを使う（NP62J/NP52J）

5

5-3. スライド画面の操作

スライド画面では次の操作が行えます。

(SELECT ▶)ボタン …… 次の画像を投写します。
(SELECT ◀)ボタン …… 前の画像を投写します。
(ENTER)ボタン ……… ポインタ（ ）を表示します。ポインタは(SELECT ▼▲◀▶)ボタンを押すと移動します。もう一度(ENTER)ボタンを押すとポインタが消えます。
(EXIT)ボタン ………… サムネイル画面に切り替えます。
(MENU)ボタン ………… コントロールバーを表示します。
(SELECT ◀/▶)ボタンを押して黄色のカーソルを移動し目的の項目で(ENTER)ボタンを押します。各項目の働きは次のとおりです。



コントロールバーの項目	説　明
① 戻る	前の画像を投写します。
② 再生／停止	スライドショーの自動再生を開始します。またはスライドショーを停止します。
③ 進む	次の画像を投写します。
④ 右 90° 回転	画像を時計回りに 90° 回転します。
⑤ 左 90° 回転	画像を反時計回りに 90° 回転します。
⑥ 終了	コントロールバーを消します。
⑦ サムネイル画面へ戻る	サムネイル画面に切り替えます。

5-4. サムネイル画面の操作

サムネイル画面の見かた



名　称	説　明
① パス	投写しているフォルダのパスを表示します。 USBメモリを挿しているときはドライブ名が「USB」と表示され、*Bluetooth*® USB アダプタを挿しているときはドライブ名が「*Bluetooth*」と表示されます。
② 上の階層へ	上（親）の階層のフォルダに戻ります。
③ 画像またはフォルダ（サムネイル表示またはアイコン表示）	画像やフォルダをサムネイル（縮小表示）またはアイコンで表示します。
④ 選択している画像のファイル名	カーソルが当たっている画像のファイル名を表示します。
⑤ 情報表示	●画像にカーソルがあるとき 画像の順番（全画像数分の何番目か）、画像に変更を加えた最新の日時、ファイル容量を表示します。ただし、*Bluetooth* 無線技術で受信した画像の日時は表示されません。 ●フォルダにカーソルがあるとき フォルダの更新日時を表示します。 ●ドライブにカーソルがあるとき ドライブの空き容量を表示します。

サムネイル画面の操作

SELECT ▼▲◀▶ ボタン … カーソルを移動します。
ENTER ボタン …………… 画像にカーソルが合っている場合は、スライド画面に切り替わります。
フォルダにカーソルが合っている場合は、フォルダ内のファイルが表示されれます。
「上の階層へ」にカーソルが合っている場合は、上（親）の階層のフォルダに戻ります。
EXIT ボタン ………………… 上（親）の階層のフォルダに戻ります。
MENU ボタン …………… 次のポップアップメニューを表示します。

メニュー項目	説　明
再生	スライドショーを開始するときに選択します。
削除...（注）	*Bluetooth* 無線技術で受信した画像を削除します。「削除」と「全ファイル削除」のサブメニューが表示されれます。
USBデバイスを取り外す	本機に挿しているUSBメモリを使用停止状態にします。本機からUSBメモリを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。
オプション	オプションメニューを表示します。（このページ）

（注）本機に別売の *Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を挿しているときに表示されます。（68 ページ）

オプションメニュー

　　　　の項目は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目			説　明
ビューワ	再生モード	手動 自動	スライドショーを開始したときに、自動で画像を切り替えるか、ボタン操作（手動）で切り替えるかを選択します。
	間隔	5（秒）～ 300（秒）	再生モードで「自動」を選択したときに、画像を切り替える間隔を設定します。
	開始	スライド画面 サムネイル画面	ビューワを起動したときに、スライド画面を表示するか、サムネイル画面を表示するかを選択します。
	繰り返し	オフ オン	再生モードを「自動」にしたときのスライドショーの繰り返しと、ボタン操作で次の画像表示／前の画像表示を行ったときの循環を選択します。 「オン」を選択すると、繰り返しと循環を行います。
	サムネイル表示	オフ オン	「オン」を選択すると、サムネイル画面において、サムネイル画像を表示します。「オフ」を選択すると、サムネイル画像は表示せず画像を表すアイコンを表示します。

	並び順	名前(ABC..)（注1） 名前(ZYX.. 種類(ABC..) 種類(ZYX..) 日付（新） 日付（旧） サイズ（大） サイズ（小）	スライドショーを再生するときの画像の表示順、およびサムネイル画面の画像の並び順を選択します。
USB	USBデバイスを取り外す	実行	本機に挿しているUSBメモリを使用停止状態にします。本機からUSBメモリを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。
	Bluetooth 設定（注2）		
	サーチの応答（注2）	オフ オン	*Bluetooth* 無線技術を搭載した機器のサーチ処理に対して応答するかどうかを選択します。
	デバイス名（注2）	―	*Bluetooth* 無線技術を搭載した機器に対して、ここで設定したデバイス名を返信します。 デバイス名の初期値は、本機に挿している*Bluetooth*® USB アダプタのBDアドレス（コロンを除いた12桁）が設定されます。
	パスキー（注2）	オフ オン［0000］ 変更	*Bluetooth* 無線技術を搭載した機器との接続時に認証および暗号化を行うかどうかを選択します。 また必要に応じて認証用文字列（1～8文字）を変更します。
	BDアドレス（注2）	―	本機に挿している*Bluetooth*® USB アダプタのBDアドレスを表示します。
VERSION	FIRMWARE		ビューワのファームウェアのバージョンを表示します。
	DATA		
	FONT		

（注 1）「並び順」の設定は、本機の電源を入れなおすと「名前 (ABC..)」に戻ります。

（注 2）本機に別売の *Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を挿しているときに表示されます。（➡ 68 ページ）

文字の入力方法

Bluetooth® USB アダプタ使用する際、「デバイス名」および「パスキー」を入力／変更する場合は、文字入力画面（ソフトウェアキーボード）で行います。
ここでは、パスキーの入力を例に説明します。
オプションメニューで［パスキー］の「変更」を選択すると、文字入力画面が表示されます。



●文字を入力する

1 SELECT ▼ボタンを押す。

文字種別の欄にカーソルが移動します。



2 SELECT ◀/▶ボタンを押す。

文字種別が「英大文字」、「英小文字」、「数字」と切り替わります。



3 目的の文字種別にカーソルを合わせ、SELECT ▼ボタンを押す。

文字欄にカーソルが移動します。

4 目的の文字にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

入力欄に文字が表示されます。



5 **必要な文字入力が終わったら、SELECT ▼ボタンを押して［確定］にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押す。**

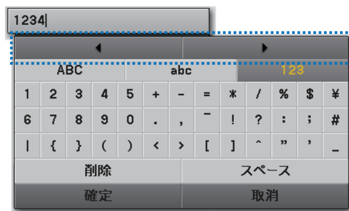
入力欄の文字が決定されます。

・［取消］にカーソルを合わせENTERボタンを押すと、文字入力を中止します。

●入力欄の文字を修正する

1 **SELECT ▼/▲ボタンを押して「◀」､「▶」欄にカーソルを移動する。**

「◀」､「▶」欄が濃いグレーになります。



2 **SELECT ◀/▶ボタンを押す。**

入力欄の文字カーソル（ I ）が左右に移動します。



3 **文字カーソル（ I ）を削除する文字の右に移動する。**

4 **SELECT ▼ボタンを押して［削除］にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押す。**

入力欄の文字が消えます。

・［スペース］にカーソルを合わせENTERボタンを押すと、文字カーソルの位置に半角スペースが入力されます。



5-5. *Bluetooth*® 無線技術を使って画像を送信する

概　要

別売の*Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）を本機のUSBポート（タイプA）に挿すと、*Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機に対してワイヤレスで画像を送信し投写することができます。



- 本機から*Bluetooth*® USB アダプタを取り外すと、受信した画像はすべて消去されます。
- 本機がスタンバイ状態になったりAC電源が切断されたりすると、受信した画像はすべて消去されます。
- 本機で受信した画像を保存することはできません。
- 本機が受信できる容量は、すべての画像を合わせて6メガバイトまでです。１つの画像の容量は、2.5メガバイトまでです。
- 画像を送信中に、本機が受信できる容量を超えた場合は、受信した順番が古い画像から削除し、新しい画像を受信します。なお、画像を削除する際、確認メッセージは表示しません。

Bluetooh® USB アダプタの主な仕様

形名	NP01BA
規格	*Bluetooth* Ver.2.0+EDR
通信方式	FH-SS（周波数ホッピング方式）
使用周波数	2.4GHz 帯（2402-2480MHz）
送信出力	2.5mW、Class2
対応プロファイル	BIP (Basic Imaging Profile) OPP (Object Push Profile)
見通し通信距離	約 10m　（※使用環境によって異なります。）
外形寸法	17.6（幅）× 9.0（高さ）× 56.3（奥行）mm
質量	6g
使用環境	温度：0 ～ 40℃ 湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）
保存環境	温度：-10 ～ 60℃ 湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

- 送信機器側が *Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）のプロファイルに対応しているかを、事前に送信機器の取扱説明書などを参照して確認してください。
- *Bluetooth*® USB アダプタ（形名 NP01BA）は、当社のプロジェクター専用です。

操作の流れ

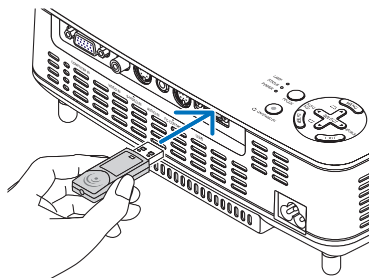
① 本機の電源を入れる。

② 本機の入力切り替え(SELECT ▶)(SOURCE)で「ビューワ」を選択する。

- リモコンで操作しているときは(VIEWER)ボタンを押してください。

③ 本機の USB ポートに *Bluetooth*® USB アダプタを挿す。

- *Bluetooth*® USB アダプタの「⦿」側の面を上にして挿してください。
- 画面下部に「*Bluetooth* 初期化中」と表示されている間は、*Bluetooth*® USB アダプタを取り外さないでください。初期化中に *Bluetooth*® USB アダプタを取り外すと故障の原因となります。
- *Bluetooth* の初期化処理が正常に終了すると、サムネイル画面左上のドライブ表示が「*Bluetooth*」に変わります。



④ *Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機へ画像を送信する。

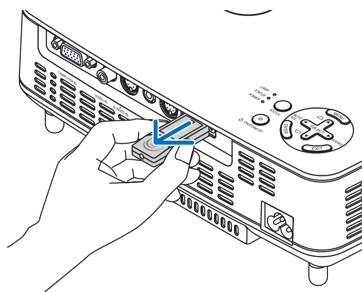
- 送信機器側で、本機のデバイス名を選択し、パスキーを入力してください。
  本機のデバイス名の初期値は「挿している *Bluetooth*® USB アダプタの BD アドレス」です。また、パスキーの初期値は「0000」です。
- 本機が画像を受信すると、サムネイル画面に表示します。
- 本機で表示できない画像を受信した場合は、「ファイルフォーマットが正しくありません。」とメッセージを表示します。その場合、ファイルは本機に保存しません。

⑤ 本機のビューワを操作して、画像を投写する。

- 画像を受信したあとのビューワの操作は、USB メモリのときと同じです。
  (➡「5-3. スライド画面の操作」62 ページ)、(➡「5-4. サムネイル画面の操作」63 ページ)
- 受信した画像を削除する場合は、サムネイル画面で(MENU)ボタンを押して、ポップアップメニューの「削除...」を選択してください。

⑥ *Bluetooth*® USB アダプタの使用を終了する。

- 本機から *Bluetooth*® USB アダプタを取り外します



Bluetooh 無線技術がつながらないとき

Bluetooth 無線技術が正常に行えないときは、次の項目を確認してください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
Bluetooth 無線技術を搭載している機器において本機のデバイス名が表示されない。 または画像の送信速度が遅い。	*Bluetooth*® USB アダプタが本機に正しく挿してあるかを確認してください。サムネイル画面左上のドライブ名に「*Bluetooth*」と表示されていれば正常です。	69
	Bluetooth 無線技術を搭載している機器と本機の距離が離れ過ぎていないか、また間に障害物がないかを確認してください。*Bluetooth* 無線技術は、見通し約 10m の範囲で使用できます。（※使用環境によって異なります。）	68
	周囲に電波を発する機器がないかを確認してください。たとえば無線 LAN 装置や電子レンジが発する電波と干渉を起こす場合があります。	–
	本機の設定で *Bluetooth* 無線技術を搭載している機器のサーチ処理の応答を「オフ」にしていると、サーチ画面に表示されません。本機のサーチの応答を「オン」に設定するか、*Bluetooth* 無線技術を搭載している機器で BD アドレスを直接入力してください。	65
	送信側の機器で *Bluetooth* 無線技術が「オフ」に設定されていないかを確認してください。	–
Bluetooth 無線技術を搭載している機器が本機に接続できない。	本機は同時に複数の機器からのデータを受信することができません。他の機器からの送信が完了するまでお待ちください。	–
	本機にパスキーを設定しているときは、送信側の機器でも同一のパスキーを設定しないと接続することができません。	65
	送信側の機器が本機の *Bluetooth* 対応プロファイル（BIP または OPP）に対応しているかを確認してください。本機のプロファイル（BIP または OPP）に対応していない機器から画像を送信することはできません。	68

6. オンスクリーンメニュー

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

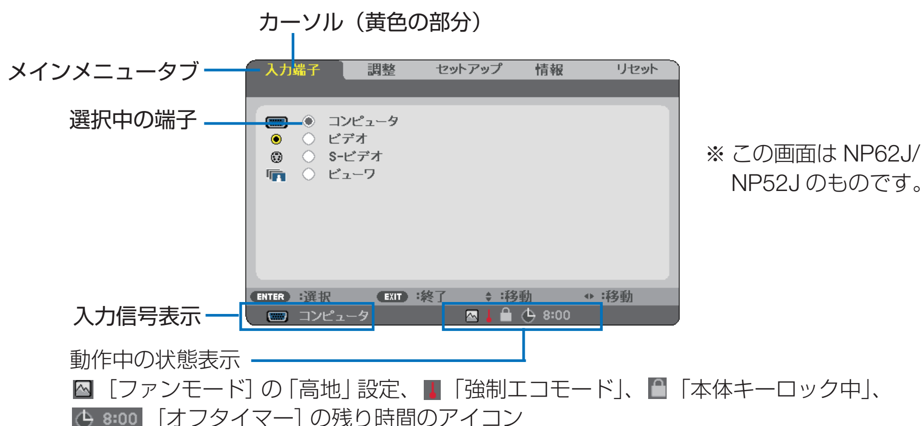
本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには (MENU) ボタンを押します。また、メニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

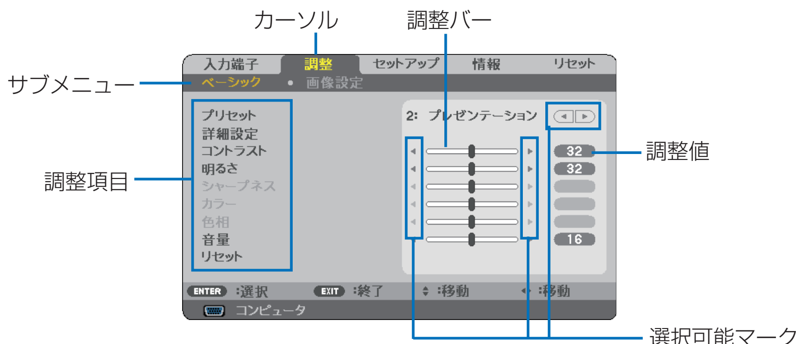
1 (MENU) ボタンを押す。
ご購入後、はじめて操作したときは[入力端子]のメニューが表示されます。



※ この画面は NP62J/NP52J のものです。

[ファンモード] の「高地」設定、「強制エコモード」、「本体キーロック中」、8:00 [オフタイマー] の残り時間のアイコン

2 (SELECT ▶) ボタンを1 回押す。
カーソルが[調整]に移動し、[調整]のメニューが表示されます。



3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 [明るさ]にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- 「◀ ▶(選択可能マーク)」が付いている項目は (SELECT ◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

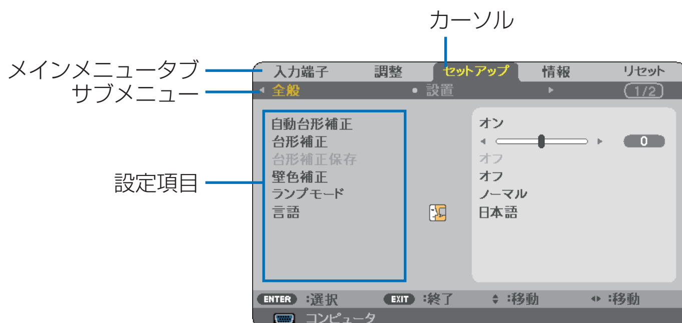
  「◀ ▶(選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。
- 調整項目内の[リセット]にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、[ベーシック]の調整や設定を工場出荷状態に戻します。(➡ 80ページ)

5 (EXIT) ボタンを2回押します。

カーソルがメインメニュータブの[調整]に移動します。

6 (SELECT ▶) ボタンを1 回押す。

カーソルが[セットアップ]に移動し、[セットアップ] のメニューが表示されます。



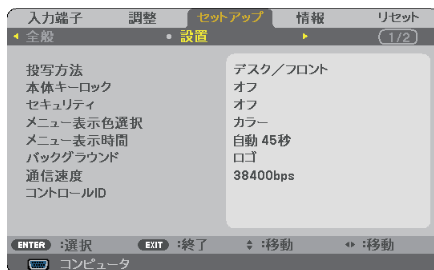
7 (ENTER) ボタンを押す。

[全般]にカーソルが移動します。

- [セットアップ]には[全般]、[設置]、[オプション(1)]、[オプション(2)]、という4 つのサブメニューがあります。(SELECT ◀/▶)ボタンで選択します。

8 (SELECT ▶) ボタンを1 回押して[設置]にカーソルを合わせる。

[設置]のメニューに切り替わります。



9 (SELECT ▼) ボタンを押して[バックグラウンド]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

・「バックグラウンド」とは、無信号時に表示される画面のことです。



10 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

・選択を取り消す場合は、(EXIT) ボタンを押します。

12 (MENU) ボタンを１ 回押す。

メニューが消えます。



● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

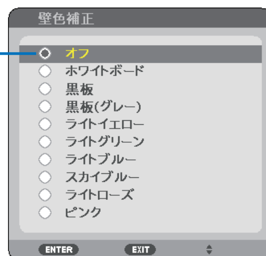
調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢から１つ「◉」を選びます。

【例１】［壁色補正］の選択

［セットアップ］→［全般］→［壁色補正］



1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

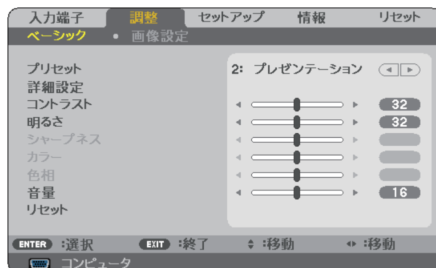
選択されているマーク(◉)が移動します。

2 選択する項目に「◉」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (EXIT) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】［調整］の［リセット］



1. ［リセット］にカーソルが合っていることを確認する。
2. (ENTER) ボタンを押す。
   確認メッセージが表示されます。
3. 実行する場合は、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して［はい］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
   機能が実行されます。
   - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで［いいえ］を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

（グレーの網掛け）は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー	サブメニュー			選択項目		参照ページ
入力端子	—			コンピュータ		77
				ビデオ		
				S- ビデオ		
				ビューワ（NP62J/NP52J）		
調整	ベーシック					
		プリセット		1：高輝度モード／2：プレゼンテーション／3：ビデオ／4：ムービー／5：グラフィック／6：sRGB		78
			詳細設定	参照	高輝度モード／プレゼンテーション／ビデオ／ムービー／グラフィック／sRGB	79
				ガンマ補正	ダイナミック / ナチュラル / ソフト	79
				色温度	5000/6500/7800/8500/9300/10500	79
				BrilliantColor	オフ、中、強	79
		コントラスト				80
		明るさ				
		シャープネス				
		カラー				
		色相				
		音量				80
		リセット				80
	画像設定			クロック周波数		81
				位相		81
				水平		81
				垂直		81
				アスペクト	ノーマル／ワイドズーム／シネマ／リアル	82
				シネマポジション		83
				ノイズリダクション	オフ／弱／中／強	83
				テレシネモード	オフ／2-2/2-3自動／2-2オン／2-3オン	83
セットアップ	全般			自動台形補正	オフ／オン	84
				台形補正		84
				台形補正保存	オフ／オン	84
				壁色補正	オフ／ホワイトボード／黒板／黒板（グレー）／ライトイエロー／ライトグリーン／ライトブルー／スカイブルー／ライトローズ／ピンク	84
				ランプモード	ノーマル／エコ	84
				言語	ENGLISH, DEUTSCH, FRANÇAIS, ITALIANO, ESPAÑOL, SVENSKA, 日本語 , DANSK, PORTUGUÊS, ČEŠTINA, MAGYAR, POLSKI, NEDERLANDS, SUOMI, NORSK, TÜRKÇE, РУССКИЙ , عربي, ΕΛΛΗΝΙΚΑ , 中文 , 한국어	84
	設置			投写方法	デスク/フロント／天吊り/リア／デスク/リア／天吊り/フロント	85

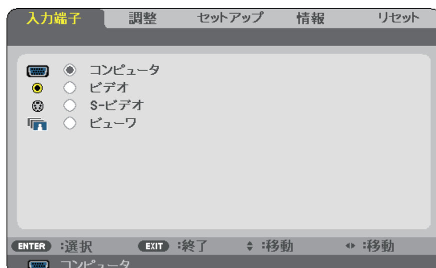
オンスクリーンメニュー

6

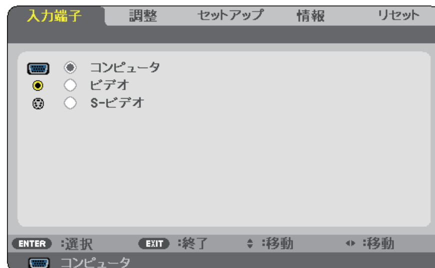
<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9"></td><td>本体キーロック</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>86</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>86</td></tr>
<tr><td>メニュー表示色選択</td><td colspan="2">カラー／モノクロ</td><td>86</td></tr>
<tr><td>メニュー表示時間</td><td colspan="2">手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒</td><td>86</td></tr>
<tr><td>バックグラウンド</td><td colspan="2">ブルーバック／ブラックバック／ロゴ</td><td>86</td></tr>
<tr><td>通信速度</td><td colspan="2">4800bps／9600bps／19200bps／38400bps</td><td>87</td></tr>
<tr><td rowspan="3">コントロール ID</td><td>コントロールID番号</td><td>1 ～ 254</td><td rowspan="3">87</td></tr>
<tr><td>コントロール ID</td><td>オフ／オン</td></tr>
<tr><td>ID 表示</td><td>オフ／オン</td></tr>
<tr><td rowspan="18"></td><td rowspan="5">オプション（1）</td><td>オートフォーカス</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>88</td></tr>
<tr><td>ファンモード</td><td colspan="2">自動／高速／高地</td><td>89</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カラー方式</td><td>ビデオ</td><td>自動判別／ NTSC3.58 ／ NTSC4.43 ／ PAL ／ PAL-M ／ PAL-N ／ PAL60 ／ SECAM</td><td rowspan="2">89</td></tr>
<tr><td>S- ビデオ</td><td>自動判別／ NTSC3.58 ／ NTSC4.43 ／ PAL ／ PAL-M ／ PAL-N ／ PAL60 ／ SECAM</td></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>89</td></tr>
<tr><td rowspan="6">オプション（2）</td><td>オフタイマー</td><td colspan="2">オフ／ 0：30 ／ 1：00 ／ 2：00 ／ 4：00 ／ 8：00 ／ 12：00 ／ 16：00</td><td>90</td></tr>
<tr><td>スタンバイモード</td><td colspan="2">ノーマル／省電力</td><td>90</td></tr>
<tr><td>オートパワーオン (AC)</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>90</td></tr>
<tr><td>オートパワーオン (COMP.)</td><td colspan="2">オフ／オン</td><td>91</td></tr>
<tr><td>オートパワーオフ</td><td colspan="2">オフ／0：05／0：10／0：20／0：30</td><td>91</td></tr>
<tr><td>初期入力選択</td><td colspan="2">ラスト／自動／コンピュータ／ビデオ／S-ビデオ／ビューワ（NP62J/NP52J）</td><td>91</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">情報</td><td>使用時間</td><td colspan="3">ランプ残量／ランプ使用時間</td><td rowspan="3">92</td></tr>
<tr><td>信号</td><td colspan="3">水平同期周波数／垂直同期周波数／信号形式／ビデオ標準／同期形態／同期極性／走査方式</td></tr>
<tr><td>VERSION</td><td colspan="3">PRODUCT ／ SERIAL NUMBER ／ FIRMWARE ／ DATA</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リセット</td><td rowspan="3">—</td><td colspan="3">表示中の信号</td><td rowspan="3">93</td></tr>
<tr><td colspan="3">全データ</td></tr>
<tr><td colspan="3">ランプ時間クリア</td></tr>
</table>

6-3. 入力端子



NP62J/NP52J



NP61J/NP41J

●入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「●」（ドット）を表示します。

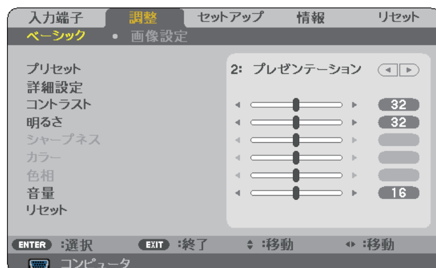
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子(VIDEO IN)に接続している機器の映像を投写します。
S－ビデオ	S-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN)に接続している機器の映像を投写します。
ビューワ (NP62J/NP52J)	本機のUSBポートに挿した市販のUSBメモリ内の画像を投写します。 また、本機のUSBポートに別売の*Bluetooth*® USB アダプタを挿すと、*Bluetooth* 無線技術を搭載したパソコンや携帯電話から本機へ画像を送信し投写します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)に接続している場合は、「コンピュータ」を選択してください。
- コンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

6-4. 調整

ベーシック



●プリセット

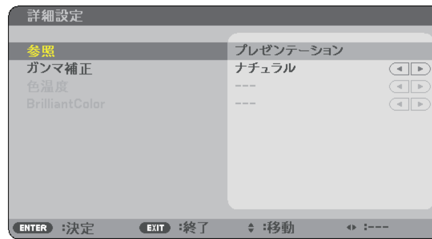
投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目 1 ～ 6 に、あらかじめ次の設定がされています。
また、［詳細設定］でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1 ～ 6 に登録できます。

1: 高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2: プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3: ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4: ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5: グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6: sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996 年に Hewlett-Packard 社と Microsoft 社が策定し、1999 年に IEC の国際規格となりました。

詳細設定



参照

プリセット項目の 1 ～ 6 にお好みの調整値を登録します。
最初に、[参照] から調整のもととなるモードを選択し、続いてガンマ補正、色温度、または BrilliantColor の項目について、設定を行います。

ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

10500 ↕ 5000	色温度が高くなり、青みがかった白になります。 色温度が低くなり、赤みがかった白になります。

BrilliantColor

白の明るさを選択します。
「中」→「強」を選ぶと白色が明るくなります。

注意

- [参照] で「高輝度モード」または「プレゼンテーション」を選択すると、[色温度] と [BrilliantColor] は変更できません。
- [壁色補正] を「オフ」以外に設定していると、[色温度] は変更できません。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

● 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ(RGB)	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	△	△
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○
ビューワ(NP62J/NP52J)	○	○	×	×	×

(○：調整可、×：調整不可、△：信号によって調整不可の場合あり)

●音量

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

注意

● ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[オプション(1)]の[ビープ音]を「オフ」にしてください。(➡ 89ページ)

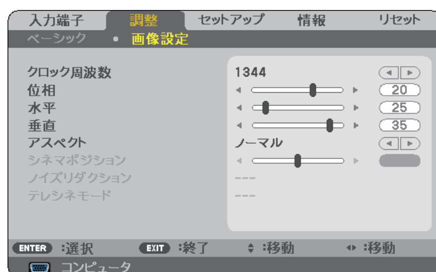
参考

● 工場出荷時、音量は16に設定されています。
● 音量は、リモコンの(VOLUME +/−)ボタンでも調整できます。

●リセット

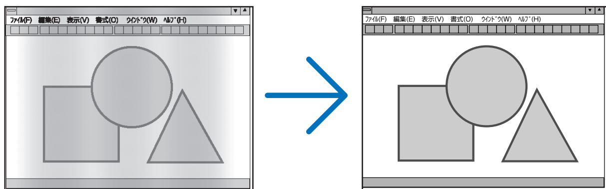
コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相、および音量を工場出荷状態に戻します。

画像設定



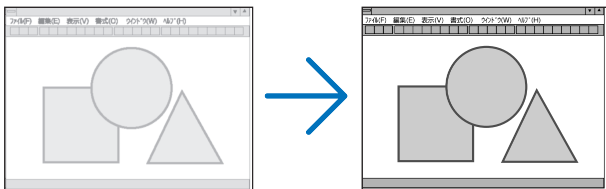
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる(明暗の縦帯が出なくなる)ように調整します。



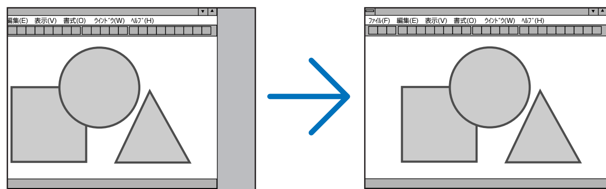
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



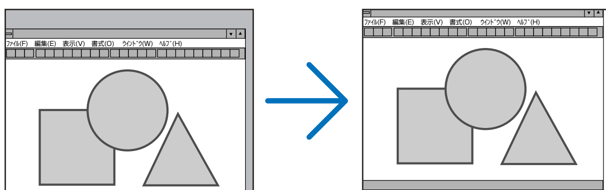
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。



注意

- [クロック周波数]、[位相]を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- [クロック周波数]、[位相]、[水平]、[垂直]を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューの[リセット]→[表示中の信号]または[全データ]を行ってください。

●アスペクト

画面の縦横の比率、およびコンピュータ信号を投写するときの表示解像度を選択します。

ノーマル	通常の画面サイズです。4：3 の入力信号を 4：3 の画面サイズで投写します。
ワイドズーム	16：9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4：3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。 スクイーズ
シネマ	16：9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16：9 の画面サイズで投写します。 スクイーズ なお、［シネマポジション］で表示領域の垂直位置を調整できます。 （次ページ）
リアル	コンピュータ信号を入力機器の解像度のまま投写します。 ［リアル］以外を選択している場合、コンピュータ信号は本機の解像度（1024 × 768 ドット）に自動的に拡大／縮小して投写します。 例：入力信号が 800 × 600 ドットの場合 ［リアル］の場合　1024　768　800　600 ［リアル］以外の場合　1024　768 注意 ●コンピュータ信号以外の信号を選択しているときは［リアル］を選択できません。

注意

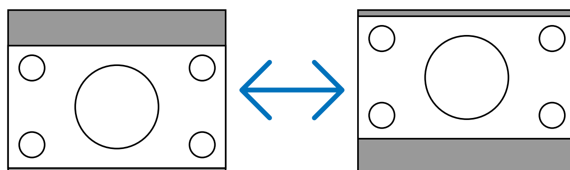
● 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、［アスペクト］の画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

参考

● アスペクト比 16：9 の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して 4：3 にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。
● 本機の表示画素数より上の解像度（SXGA など）の信号を表示した場合は、「リアル」を選択しても本機の表示画素数で表示されます。

●シネマポジション

［アスペクト］で［シネマ］を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



●ノイズリダクション

ビデオ信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減します。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定しています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

●テレシネモード

映画などを投写して画面のちらつきが気になる場合、本機のＩ－Ｐ変換処理モードのテレシネ信号を最適なモードに設定します。

オフ	プルダウン処理を強制的に無効にします。
2-2/2-3 自動	テレシネ信号か、そうでないかを判別し、自動的に最適なモードに切り替えます。
2-2 オン	2-2 プルダウン処理モードに設定します。
2-3 オン	2-3 プルダウン処理モードに設定します。

6-5. セットアップ

全般



●自動台形補正

自動台形補正（39 ページ）を行います。

オフ	手動で台形補正を行います。
オン	自動台形補正を行います。

●台形補正

投写画面の台形歪みを手動で調整します。（41 ページ）

●台形補正保存

［台形補正］で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

オフ	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
オン	本体内部のメモリに調整値を保存します。

●壁色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

●ランプモード

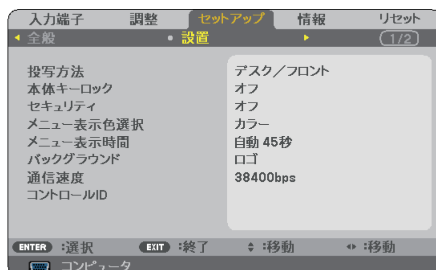
小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎるときや、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコ」にし、ランプ交換時間（目安）※を延ばすことができます。（50 ページ）※保証時間ではありません。

●言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 言語は、［リセット］を行っても変更されません。



●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

 警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを利かないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが利きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「🔒」アイコンが表示されます。
- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体操作ボタンがロックされているときに、本体の (EXIT) ボタンを約 10 秒間押すと、ロックが解除されます(本体キーロックの設定が無効になります)。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(➡ 51 ページ)をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

注意

- セキュリティは、[リセット] を行っても解除されません。

●メニュー表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●メニュー表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青色
ブラックバック	背景色が黒色
ロゴ	背景が NEC ロゴ

注意

- バックグラウンドは、[リセット] を行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子（PC CONTROL）のデータ転送速度を選択します。
接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考
- 通信速度は、［リセット］を行っても変更されません。

●コントロール ID

コントロールID機能があるオプションリモコンNP02RCから本機を操作する場合に設定します。
コントロールIDは複数台のプロジェクターにIDを割り振り、１個のリモコンを使用して、IDを切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作する機能です。
また、複数台のプロジェクターに同じIDを設定し、１個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	本機に割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。
ID 表示	コントロール ID 機能があるリモコンの（ID SET）ボタンを押したときに、設定している ID のメッセージを表示するか、しないかを選択します。	

注意
- コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンからは本機を操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。
  また、オプションリモコン NP01RC など ID 機能に対応していないリモコンからも操作できなくなります。

参考
- コントロールID は、［リセット］を行っても解除されません。
- 本体の（ENTER）ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

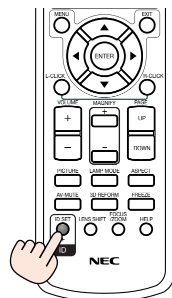
リモコンへの ID の設定／変更方法

1 プロジェクターの電源を入れる。

2 オプションリモコン NP02RC の（ID SET）ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコンIDで操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。
「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID番号と同じ番号をリモコンに設定します。

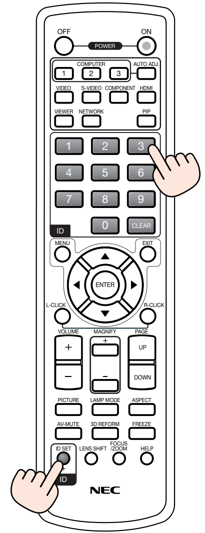


オンスクリーンメニュー
6

3 オプションリモコンNP02RCの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンのIDを設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）するには、000 を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

参考
- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

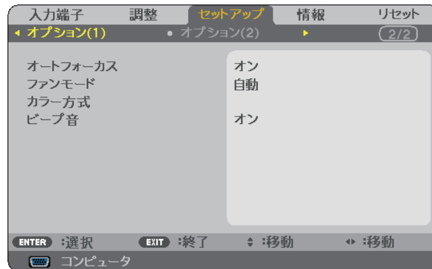


4 (ID SET) ボタンを離す。

コントロールID画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコンIDで動作・非動作画面が更新されます。

注意
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくするとIDはクリアされることがあります。

オプション（1）



●オートフォーカス

オートフォーカス機能(38ページ)の入／切を設定します。

オフ	オートフォーカス機能は働きません。
オン	電源を入れる・ズームレバーを動かす・本体を移動すると自動的に投写画面のフォーカスを合わせます。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1500m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約1500m以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 「ファンモード」を「高地」に設定しないまま、標高約1500m以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。
  さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約1500m未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、［リセット］を行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に アイコンが表示されます。

●カラー方式

NTSC やPAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。
工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

参考

- ビデオ映像入力端子（VIDEO IN）およびS-ビデオ映像入力端子（S-VIDEO IN）の入力信号の設定ができます。

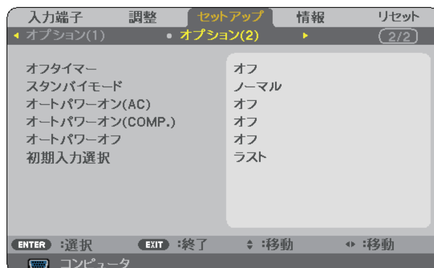
●ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

注意

- ビープ音の音量は調整できません。
  また、(AV-MUTE) ボタンを押しても消えません。
  ビープ音を出したくない場合は、［ビープ音］を「オフ」に設定してください。

オプション（2）



●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。



- オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、STATUS インジケータが緑色で点灯します。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、STATUS インジケータが消灯します。 ただし、スタンバイ状態のときにPC コントロール端子やオートパワーオン(COMP.)は働きません。



- スタンバイモードは[リセット]を行っても変更されません。

●オートパワーオン（AC）

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC電源が供給されると電源が入ります。 [初期入力選択]（次ページ）で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン（COMP.）

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。
本機のコンピュータ映像入力端子（COMPUTER IN）とパソコンをコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン（COMP.）機能は働きませせん。
オン	コンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてパソコン画面を投写します。

注意
- コンピュータ映像入力端子（COMPUTER IN）にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン（Sync on Green）またはコンポジットシンク（Composite Sync）のコンピュータ信号の場合は働きません。
- スタンバイモードを「省電力」に設定しているとき、オートパワーオン（COMP.）は働きません。

●オートパワーオフ

入力選択がコンピュータ、ビデオ、S- ビデオのとき、設定した時間（5 分、10 分、20 分、30 分）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態にします。

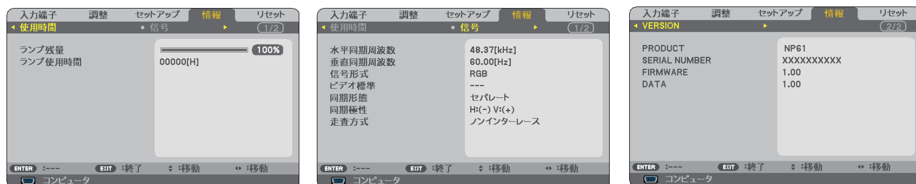
●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子（COMPUTER IN）の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子（VIDEO IN）の入力信号を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子（S-VIDEO IN）の入力信号を投写します。
ビューワ（NP62J/NP52J）	ビューワを起動します。

注意
- NP62J/NP52Jのとき、初期入力選択を「自動」に設定していても「ビューワ」は自動検出できません。
本機の電源を入れたときに「ビューワ」を自動的に選択するには、初期入力選択で「ビューワ」を選択してください。

6-6. 情報



ランプ使用時間、入力選択されている入力信号の詳細などを表示します。

・「使用時間」は、ランプ残量時間とランプ使用時間の確認に使います。
「信号」は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(➡ 110 ページ) もあわせてご覧ください。
「Version」は本機の形名・製造番号・ソフトウェアのバージョンを表示します。
また、コントロール ID 番号を設定しているときは、その番号を表示します。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの交換時間(目安)※が異なります。

[ランプ使用時間]はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量]はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

・0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-3. ランプと冷却ユニットの交換」(➡ 96ページ)をご覧ください。

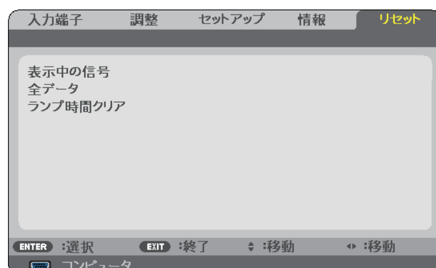
・ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間、および本機の POWER ボタンまたはリモコンのPOWER OFF ボタンを押したときに表示されます。
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。

・ランプ交換時間(目安)※に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量]表示は「100 (H)」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量]表示が「0 (H)」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用(最小)	エコモードでのみ使用(最大)	
工場出荷時	0000 時間		100%
ランプ交換時間(目安)※	2500 時間	3500 時間	0%

※保証時間ではありません。

6-7. リセット



●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされるデータ】
[コントラスト]·[明るさ]·[シャープネス]·[カラー]·[色相]·[ノイズリダクション]·
[プリセット]·[アスペクト]·[水平]·[垂直]·[クロック周波数]·[位相]·
[テレシネモード]

●全データ

本機に記憶されているすべての調整・設定値が工場出荷状態になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】
[言語]·[セキュリティ]·[通信速度]·[ランプ残量]·[ランプ使用時間]·
[バックグラウンド]·[コントロール ID 番号]·[コントロール ID]·[ファンモード]·
[スタンバイモード]

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに［ランプ残量］と［ランプ使用時間］をクリアします。



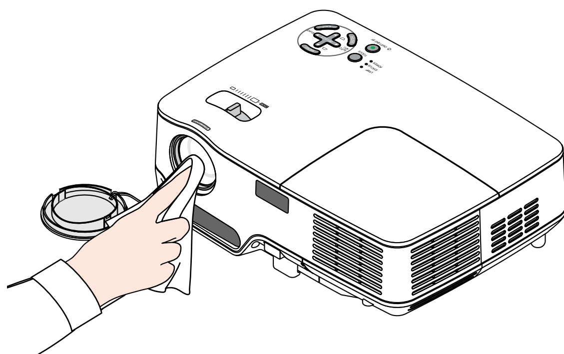
- ［ランプ残量］と［ランプ使用時間］は、［全データ］ではクリアされません。

7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. レンズとフォーカスセンサの清掃

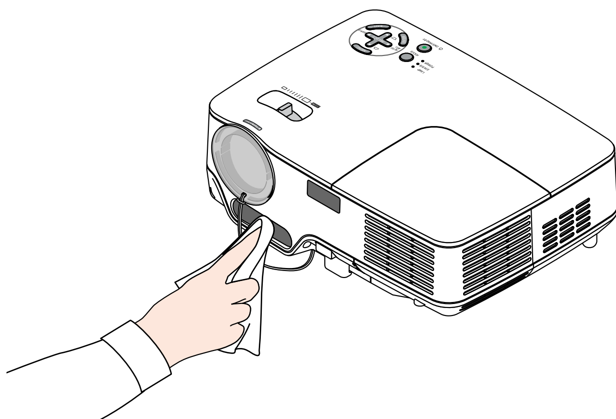
レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブロワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



フォーカスセンサの清掃

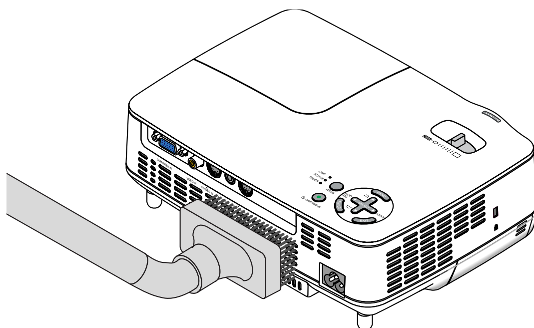
メガネ用クリーニングペーパーを使ってクリーニングしてください。
フォーカスセンサ部のカバーが傷ついたり汚れていると正常なフォーカス調整ができなくなったり、オートフォーカスの動作範囲が狭くなります。



7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



側面（前後左右）と底面の通風孔やスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが 100 時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- スピーカ部分のほこりを清掃する場合は、掃除機のブラシの先端がスピーカ部分に触れないように注意してください。スピーカ部分に圧力がかかると故障の原因となります。
- キャビネット、レンズおよびフォーカスセンサ部、スクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-3. ランプと冷却ユニットの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)※1 (92ページ)を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます※2。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)※1が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの[情報(使用時間)] (92ページ)をご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は次の交換用ランプをご指定ください。

NP62J/NP61J 用	形名 NP09LP
NP52J/NP41J 用	形名 NP08LP

- 交換用ランプには冷却ユニットが添付されていますので、ランプを交換したあとに冷却ユニットも必ず交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)※1に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※1 保証時間ではありません。

※2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間、および本機の (POWER) ボタンまたはリモコンのPOWER (OFF) ボタンを押したときに表示されます。
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。

	**ランプおよび冷却ユニットの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、60分間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。**

●ランプと冷却ユニット交換の流れ

準備：別売品の交換用ランプと冷却ユニットを用意します（冷却ユニットは交換用ランプに添付しています）。
お手持ちのプラスドライバーを用意します。

ステップ 1. プロジェクターが十分冷えていること、電源コードを抜いていることを確認する （前ページの「注意」）



ステップ 2. ランプを交換する （このページ）



ステップ 3. 冷却ユニットを交換する （100ページ）

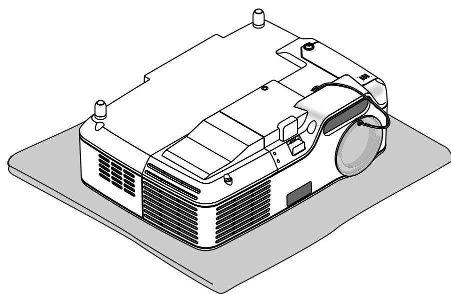


ステップ 4. ランプ残量とランプ使用時間をクリアする （101ページ）

●ランプの交換

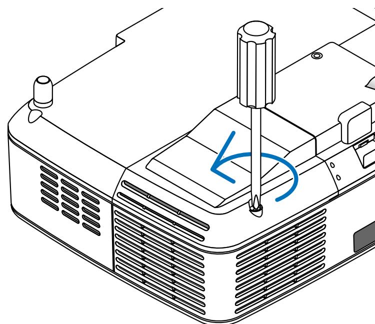
1 本機を裏返しにする。

傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

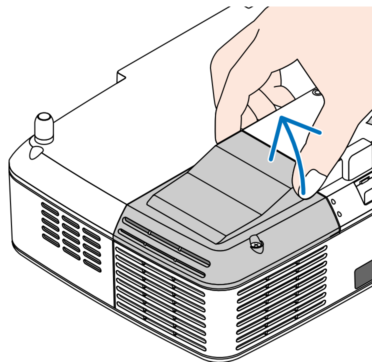


2 ランプカバーを外す。

❶ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。



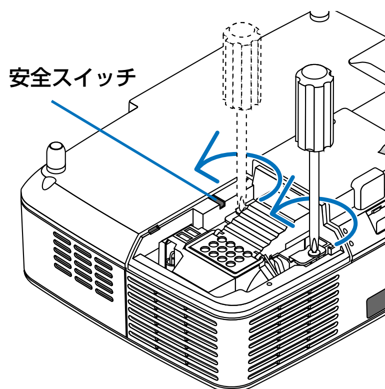
❷ランプカバーの突起部分を持ち、手前側から持ち上げる。



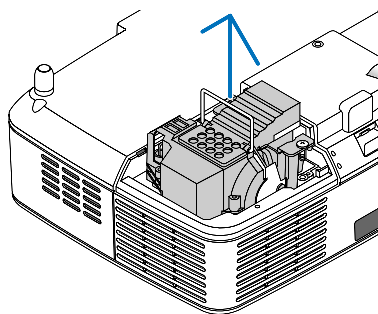
3 ランプハウスを外す。

❶ランプハウス固定のネジ（2 箇所）を左に空転するまでゆるめる。

・ネジは外れません。
・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



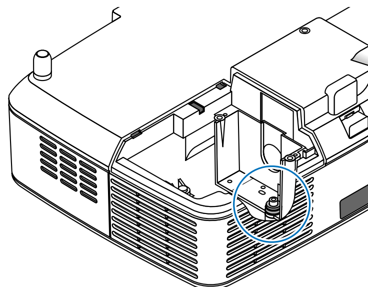
❷ランプハウスの取っ手を持って引く。



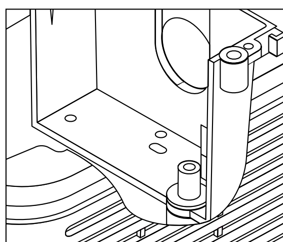
❸本体内部にランプハウスのパッキン(黒色)が付着していないか確認する。



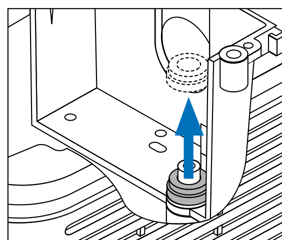
● パッキンが本体内部に付着したまま新しいランプを取り付けないでください。新しいランプのパッキンと二重になり、過剰な力が加わるため、破損の原因となります。



パッキンが付着していない場合
そのまま新しいランプを取り付けてください。



パッキンが付着している場合
パッキンを取り除いてから、新しいランプを取り付けてください。

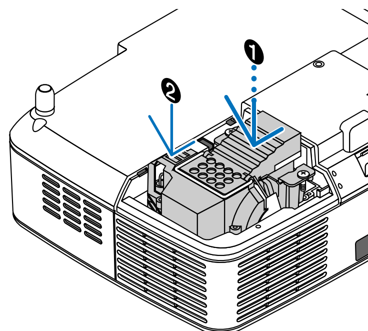


※ 一時的にランプを取り外したときに（ランプ交換以外で）、パッキンが本体内部に付着している場合は、パッキンはそのままにし、取り外したランプをもとどおりに取り付けてください。

4 新しいランプハウスを取り付ける。

❶ランプハウスを静かに入れる。

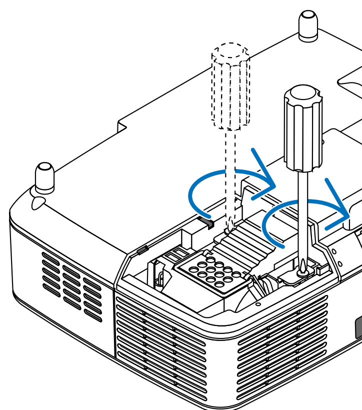
❷図の矢印部分を押してランプハウスのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



❸ランプハウス固定のネジ（2 箇所）を右に回ししてしめる。
- 2 箇所のネジは交互に繰り返してしめてください。
  2 箇所ともネジのゆるみがなくなるまで確実にしめてください。

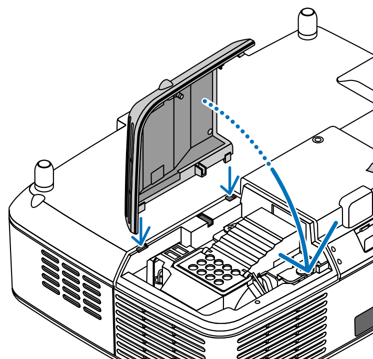


- ランプハウス固定のネジがゆるんでいると、冷却ユニット異常 （107 ページ）になり、本機の電源が入らなくなります。

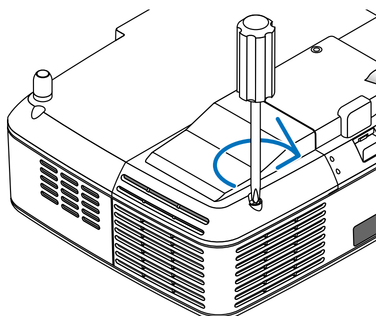


5 ランプカバーを取り付ける。

❶ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーをしめる。



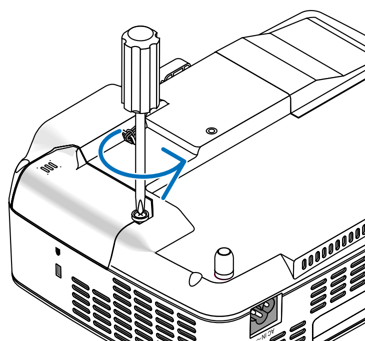
❷ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



これで、ランプ交換が終わりました。続けて冷却ユニットの交換を行います。

●冷却ユニットの交換

6 本機の方向を変え、冷却ユニット部分を手前にする。

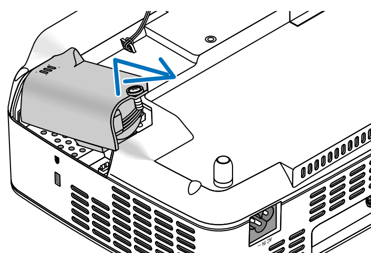


7 冷却ユニットを外す。

❶冷却ユニットのネジを左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。

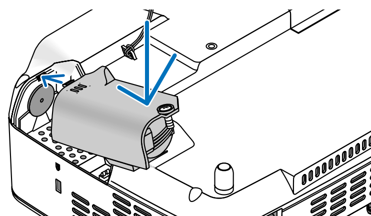
❷冷却ユニットを外す。
・ 金属端子部にほこり・汚れがある場合は取り除いてください。



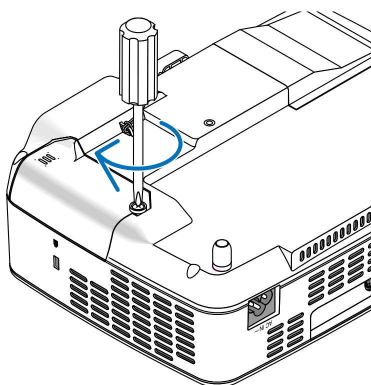


8 新しい冷却ユニットを取り付ける。

❶冷却ユニットのツメを本体のガイドに入れしめる。



❷冷却ユニットのネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



これで、冷却ユニットの交換が終わりました。
続けて次の操作を行ってください。

●ランプ残量とランプ使用時間をクリアする

9 本機をもとの状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

10 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの［リセット］→［ランプ時間クリア］を選択してください。
（93ページ）

参考

- ランプ交換時間（目安）※（92ページ）に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンのHELPボタンを10秒以上押し続けることで、ランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。
クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

8. 付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	29
	本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて利きません、リモコンを使えば操作できます。	86
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	100
	ランプハウス固定のネジがゆるんでいませんか。	99
	冷却ユニットが正しく取り付けられていますか。	101
	ランプ交換時間(目安)※を超えて使用していませんか。 新しいランプと冷却ユニットに交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの(HELP)ボタンを10秒以上押し続けてください。 本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	92
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	107
	標高約1500m 以上の高地で本機を使用していませんか。高地で使用する場合はオンスクリーンメニューの[ファンモード]で「高地」を選択してください。高地で本機を使用する場合に[ファンモード]で「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	89
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「オフタイマー」または「オートパワーオフ」を設定していませんか。	90 91
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。 本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。	33

映像が出ない	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	25
	[調整]→[ベーシック]のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	80
	コンピュータ信号(RGB)の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	110
	コンピュータ信号(RGB)の場合、画面調整を正しく行っていますか。	43
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、次ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	75
	それでも解決しない場合は、[リセット]を行ってみてください。	93
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	52
	ランプの消灯直後に電源を入れたときや、ランプの温度が高いときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約1500m未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときは「ファンモード」を「高地」に設定してください。	89
映像が歪む	正しく設置されていますか。	36
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	41
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	38, 40
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	37
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	24, 108
	投写距離がオートフォーカスの動作範囲を超えていませんか。また、動作条件を満たしていますか。	38
	オートフォーカスが有効なときに、本機のフォーカスセンサ部とスクリーンの間に障害物がありませんか。障害物がある場合は取り除いてください。または、オンスクリーンメニューで[オートフォーカス]を「オフ」に設定し、手動でフォーカス調整を行ってください。	38 40
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像がちらつく	オンスクリーンメニューの[ファンモード]で「高地」を選択した状態のまま本機を低地(標高約1500m 未満)で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。 [ファンモード]で「高地」以外を選択してください。	89
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—

映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 室温を下げてください。室温が下がると強制エコモードは解除されます。 ファンモードを「自動」にしている場合は室温を約35℃以下に、ファンモードを「高地」にしている場合は室温を約30℃以下にしてください。	50 89
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号(RGB)の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	81
	コンピュータ信号(RGB)の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	110
コンピュータ信号(RGB)で文字がちらついたり色がずれている	(AUTO ADJ.)ボタン(本体は(SELECT ◀)ボタン)を押してください。改善されない場合は、[クロック周波数]と[位相]を手動で調整してください。	43 81
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	22
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	22
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	22
	リモコンの有効範囲(7m)を超えていませんか。	22
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをパソコンに接続してください。	54
	コントロールID 機能を設定している場合、リモコンのID番号とプロジェクターのID番号は一致していますか。	87
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	106

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機をコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、パソコンを起動してください。
特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のメニューを表示して、[情報]→「信号」の「水平同期周波数」を確認してください。水平同期周波数が表示されていないときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。(92ページ)

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

参考

- Windowsのノートパソコンの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  - ・Fn キーを押したまま（⌴/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
    通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn ＋ F4	HP
Fn ＋ F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn ＋ F7	SONY、IBM、HITACHI、Lenovo
Fn ＋ F8	DELL、EPSON
Fn ＋ F10	FUJITSU

- ・表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- ・Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- ・それでも投写しない場合は、オンスクリーンメニューが消えている状態で SELECT ▶（SOURCE）ボタンを2秒以上押してみてください。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

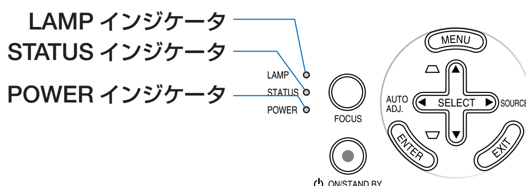
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



● POWER インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		AC 電源供給なし	—
点滅	緑色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	緑色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態）	—
	オレンジ色（短い点滅）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

● STATUS インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはスタンバイ状態(スタンバイモードが「省電力」)	—
点灯	緑色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）	—
点滅	赤色（1 回周期）	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。（100 ページ）
	赤色（2 回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。
	赤色（3 回周期）	電源異常	電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（4 回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（6 回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

次ページに続く

点滅	赤色(8回周期)	冷却ユニット異常	ランプハウス固定のネジがゆるんでいます。ランプハウス固定のネジをゆるみがなくなるまで確実にしめてください。(➡ 99ページ) または、冷却ユニットの取り付けが不十分です。冷却ユニットをいったん外し、再度確実に取り付けてください。(➡ 100ページ) それでも異常がなおらない場合は冷却ユニットの異常が考えられます。 NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。しばらくお待ちください。
点灯	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(➡ 86ページ)
		プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	コントロールIDを確認してください。 (➡ 87ページ)

● LAMP インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプと冷却ユニットを交換してください。(➡ 96ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプと冷却ユニットを交換するまで本機の電源は入りません。(➡ 96ページ)
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUS インジケータが点滅します(2回点滅の繰り返し)。
このようなときは、以下のことを行ってください。

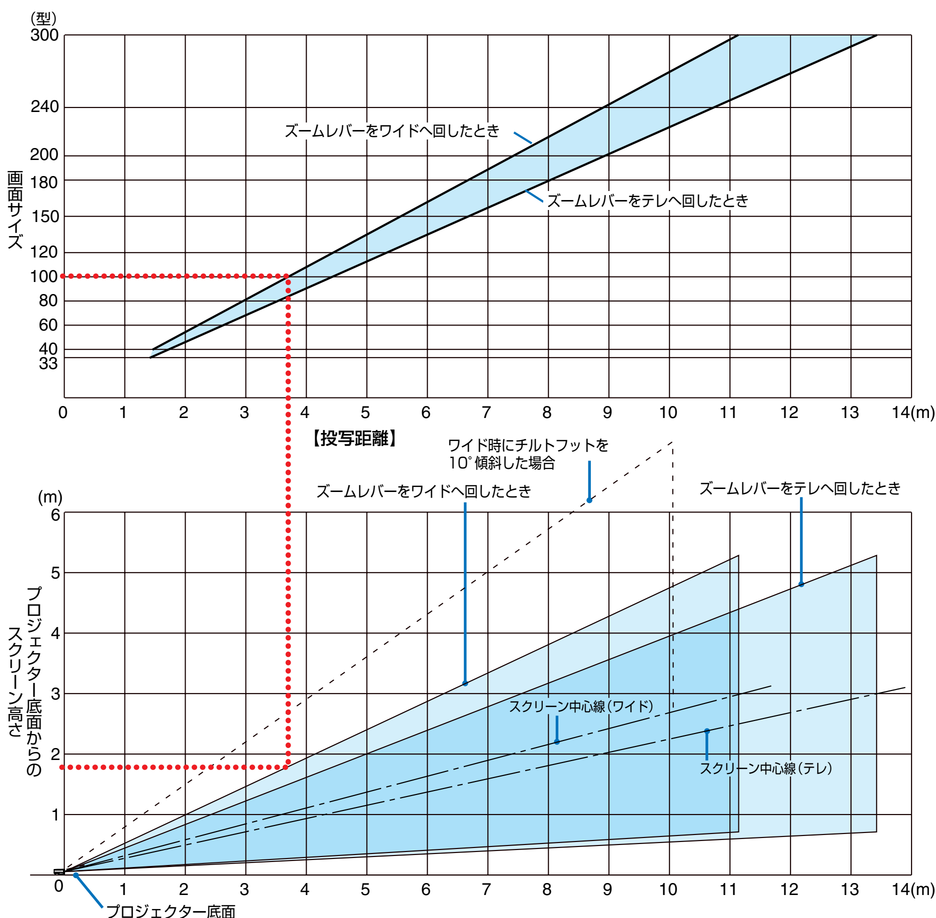
- 冷却ファンの回転が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。(➡ 95ページ)
- 本機内部の温度が下がるまで、60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

投写距離

フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から1.5m(33型の場合)〜13.4m(300型の場合)です。ただし40型未満はテレ側のみ対応しています。
この範囲で設置してください。



【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.7m付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクター底面からスクリーンの上端までが約1.8m必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。
チルトフットにより上へ最大約10°上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表

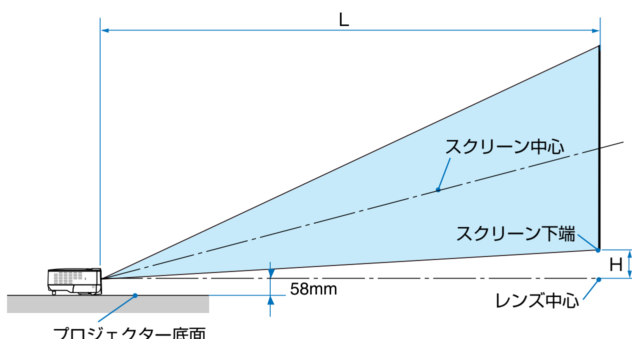


サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
33	67.1	50.3
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	122.0
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
180	365.8	274.3
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
33	—	1.44	7.0
40	1.45	1.76	8.5
60	2.20	2.66	12.7
80	2.94	3.56	16.9
100	3.69	4.46	21.2
120	4.43	5.36	25.4
150	5.55	6.71	31.8
180	6.67	8.06	38.1
200	7.42	8.96	42.4
240	8.91	10.75	50.8
300	11.14	13.45	63.6





● 上記の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

付録

8

対応解像度一覧

機種		解像度	走査周波数		対応状況
			水平（kHz）	垂直（Hz）	
ビデオ	NTSC/PAL60	ー	15.734	60.0	◎
	PAL/SECAM	ー	15.625	50.0	◎
IBM PC/AT 互換機		640 × 480	31.5	60.0	◎
		640 × 480	37.9	72.8	◎
		640 × 480	37.5	75.0	◎
		640 × 480	39.4	75.0	◎
		640 × 480	43.3	85.0	◎
		800 × 600	35.2	56.3	◎
		800 × 600	37.9	60.3	◎
		800 × 600	46.9	75.0	◎
		800 × 600	48.1	72.2	◎
		800 × 600	53.7	85.1	◎
		1024 × 768	48.4	60.0	◎
		1024 × 768	56.5	70.1	◎
		1024 × 768	60.0	75.0	◎
		1024 × 768	68.7	85.0	◎
		1280 × 960	60.0	60.0	○
		1280 × 1024	64.0	60.0	○
		1400 × 1050	—	60.0	○
		1600 × 1200 *	75.0	60.0	○
Apple Macintosh®		640 × 480	35.0	66.7	◎
		832 × 624	49.7	74.6	◎
		1024 × 768	60.2	74.9	◎
		1280 × 1024	69.9	65.2	○
HDTV	1080i	1920 × 1080	28.1	50.0	○
		1920 × 1080	33.8	60.0	○
	720p	1280 × 720	37.5	50.0	○
		1280 × 720	45.0	60.0	○
SDTV	480p	ー	31.5	59.9	◎
	576p	ー	31.3	50.0	◎
DVD	YCbCr	ー	15.7	60.0	◎
		ー	15.6	50.0	◎

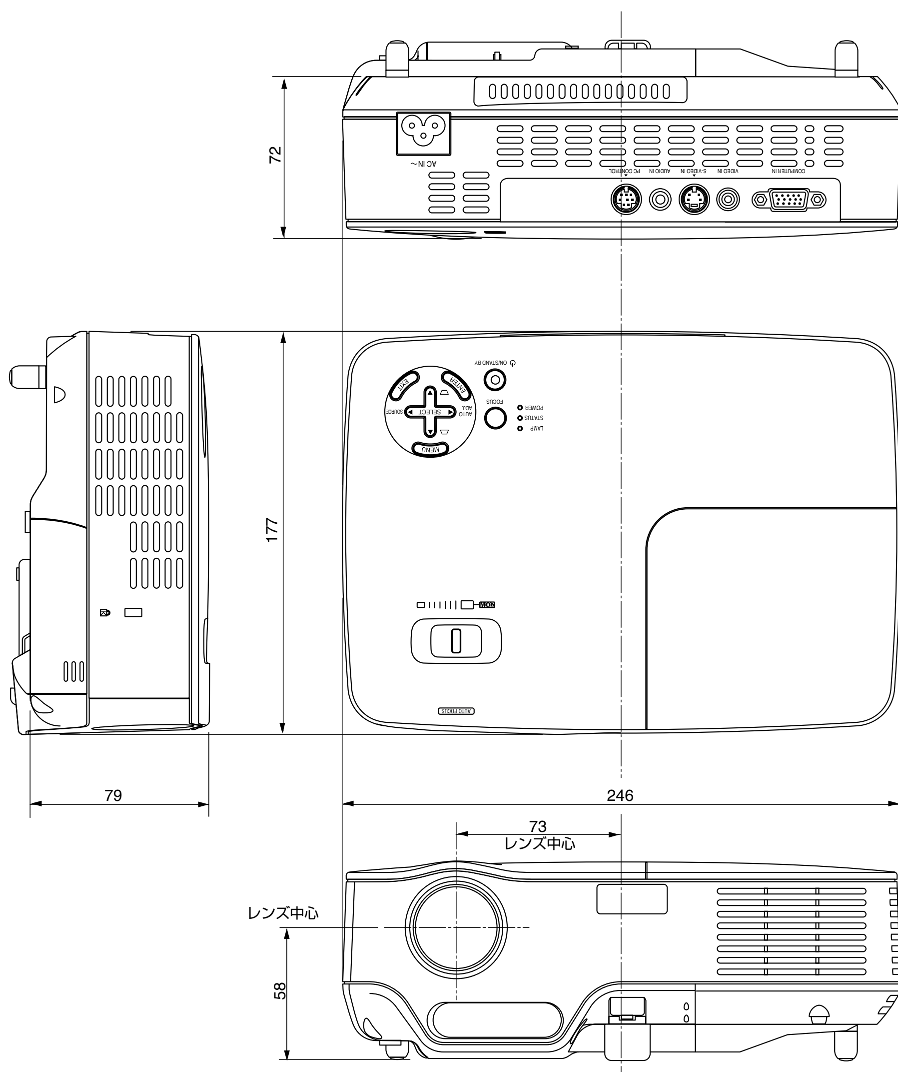
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンポジット同期信号、Sync On Green 信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- 圧縮表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。

◎：リアル表示
○：圧縮表示により対応
＊：UXGA はセパレート信号のみ対応です。

外観図

単位：mm

※下の接続端子部は NP61/NP41J です。



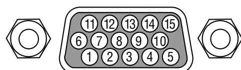
別売品

商　品　名		形　名
ランプ	交換用ランプ（NP62J/NP61J 用）	NP09LP
	交換用ランプ（NP52J/NP41J 用）	NP08LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP02CM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTL レベル

ピン番号	コンピュータ信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　接　地
7	緑　　接　地	Y　接　地
8	青　　接　地	Cb　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

仕様

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">形名</td><td colspan="5">NP62J/NP61J/NP52J/NP41J</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">方式</td><td colspan="5">単板DLP方式</td></tr>
<tr><td rowspan="7">主要部品仕様</td><td rowspan="2">DLPチップ</td><td>サイズ</td><td colspan="5">0.55型(アスペクト比 4:3)</td></tr>
<tr><td>画素数(＊1)</td><td colspan="5">786,432画素(1024ドット×768ライン)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">投写レンズ</td><td>ズーム</td><td colspan="5">マニュアル(1～1.2倍、f=20.4～24.5mm)</td></tr>
<tr><td>フォーカス</td><td colspan="5">オートフォーカス(動作範囲：1.5～5.5m)／電動フォーカス</td></tr>
<tr><td colspan="2">光源</td><td colspan="5">NP62J/NP61J：220W ACランプ(ランプエコモード時170W)
NP52J/NP41J：200W ACランプ(ランプエコモード時170W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">光学装置</td><td colspan="5">カラーフィルタ回転による色分離</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">画面サイズ(投写距離)</td><td colspan="5">33～300型(1.44m～13.45m)(ただし40型未満はテレのときのみ対応)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">色再現性</td><td colspan="5">フルカラー 1,677万色</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">明るさ(＊2)(＊3)</td><td colspan="5">NP62J/NP61J：3000 lm　NP52J：2600 lm
NP41J：2300 lm</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">コントラスト比(＊2)(全白：全黒)</td><td colspan="5">1600:1</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">走査周波数</td><td>水平</td><td colspan="5">15～100kHz(コンピュータ信号は24kHz～100kHz)</td></tr>
<tr><td></td><td>垂直</td><td colspan="5">50～120Hz(ただし85Hzを超える信号は、解像度1024×768以下のみ対応)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">調整機能</td><td colspan="5">マニュアルズーム、オートフォーカス／電動フォーカス、
入力信号切替(コンピュータ/ビデオ/S-ビデオ)、自動台形補正、
画面位置調整、AVミュート、オンスクリーン表示/選択など</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">音声出力</td><td colspan="5">0.3W　モノラルスピーカ内蔵</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">最大表示解像度(横×縦)</td><td colspan="5">1600×1200(圧縮表示による対応)</td></tr>
<tr><td rowspan="15">入力信号</td><td colspan="2" rowspan="6">R,G,B,H,V</td><td colspan="5">RGB：0.7Vp-p／75Ω 正極性</td></tr>
<tr><td colspan="5">Y：1.0Vp-p／75Ω 正極性</td></tr>
<tr><td colspan="5">Cb,Cr(Pb, Pr)：0.7Vp-p／75Ω</td></tr>
<tr><td colspan="5">H/V Sync：4.0Vp-p／TTL 正極性／負極性</td></tr>
<tr><td colspan="5">Composite Sync：4.0Vp-p／TTL 正極性／負極性</td></tr>
<tr><td colspan="5">Sync on G：1.0Vp-p／75Ω(With Sync) 負極性</td></tr>
<tr><td colspan="2">コンポジットビデオ</td><td colspan="5">1.0Vp-p／75Ω</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">S-ビデオ</td><td colspan="5">Y：1.0Vp-p／75Ω</td></tr>
<tr><td colspan="5">C：0.286Vp-p／75Ω</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">コンポーネント</td><td colspan="5">Y：1.0Vp-p／75Ω(With Sync)</td></tr>
<tr><td colspan="5">Cb,Cr(Pb,Pr)：0.7Vp-p／75Ω</td></tr>
<tr><td colspan="5">DTV：480i、480p、720p、1080i(60Hz)
576i、576p、1080i(50Hz)
DVD：プログレッシブ信号(50／60Hz)</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声</td><td colspan="5">0.5Vrms/22kΩ以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">入出力端子</td><td rowspan="2">コンピュータ</td><td>映像入力</td><td colspan="5">ミニ D-Sub 15ピン×1</td></tr>
<tr><td>音声入力</td><td colspan="5">ステレオミニジャック×1(ビデオ、S-ビデオの音声入力と共通)</td></tr>
<tr><td>ビデオ</td><td>映像入力</td><td colspan="5">RCA×1</td></tr>
<tr><td>S-ビデオ</td><td>映像入力</td><td colspan="5">ミニ DIN 4ピン×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCコントロール端子</td><td colspan="5">ミニDIN 8ピン×1</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">USBポート(NP62J/NP52J)</td><td colspan="5">タイプA×1</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">水平解像度</td><td colspan="5">NTSC：540TV本</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2" rowspan="2">使用環境</td><td colspan="5">動作温度：5～40℃(＊4) 動作湿度：20～80%(ただし結露しないこと)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">保存温度：-10～50℃　保存湿度：20～80%(ただし結露しないこと)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">電源</td><td colspan="5">AC 100V 50/60Hz(＊5)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2" rowspan="3">消費電力</td><td></td><td>NP62J</td><td>NP61J</td><td>NP52J</td><td>NP41J</td></tr>
<tr><td></td><td>ランプノーマルモード時</td><td>300W</td><td>285W</td><td>275W</td><td>265W</td></tr>
<tr><td></td><td>ランプエコモード時</td><td>235W</td><td>225W</td><td>235W</td><td>225W</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">スタンバイ時消費電力</td><td colspan="5">5W(省電力モード時)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">定格入力電流</td><td colspan="5">NP62J/NP61J：3.5A
NP52J：3.3A
NP41J：3.1A</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="5">246(幅)×72(高)×177(奥行)mm(突起部含まず)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">質量</td><td colspan="5">NP62J/NP52J：1.7kg、NP61J/NP41J：1.6kg</td></tr>
</table>

次ページに続く

（＊ 1）: 有効画素数は 99.99%です。
（＊ 2）: 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
（＊ 3）: ランプモードが「ノーマル」で、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。
ランプモードを「エコ」にすると、NP62J/NP61J では明るさが約 75%に低下します。NP52J/NP41J では明るさが約 85%に低下します。
（＊ 4）: 35 ～ 40℃は「強制エコモード」になります。また、ファンモードを「高地」に設定していると、30 ～ 40℃は「強制エコモード」になります。
（＊ 5）: 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● USB ポートは USB 規格 Ver2.0 High Speed に準拠。

● この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

付録

8

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をＮＥＣプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他（　　　　）

電源関係

□ 電源が入らない（POWERインジケータが緑色に点灯しない）。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
- □ ランプ固定のネジは確実にしめられている。
- □ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
- □ (POWER)ボタンを約1秒以上押しても電源が入らない。

□ 使用中、電源が切れる。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
- □ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
- □ オフタイマーは「オフ」に設定されている。
- □ 冷却ユニットは正しく取り付けられている。

映像関係

□ パソコンの画面が投写されない。
- □ パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。
- □ ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
  IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（パソコンによって異なります）。

□ 映像が出ない（ブルーバック、ロゴ、表示なし）。
- □ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
- □ [リセット] を実行してもなおらない。
- □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □ 画面に何かメッセージが出ている。
  （　　　　　　　　）
- □ 接続している入力を選択している。
- □ コントラスト・明るさを調整してもなおらない。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□ 映像が暗い。
- □ コントラスト・明るさを調整してもなおらない。

□ 映像が歪む。
- □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

□ 映像が切れる。
- □ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
- □ [リセット] を実行してもなおらない。
- □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
- □ コンピュータ信号の場合、水平・垂直は正しく調整されている。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 数ドット欠けている。

□ 映像がちらつく。
- □ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。
- □ [リセット] を実行してもなおらない。
- □ コンピュータ信号で文字がちらついたり、色がずれている。
- □ [ファンモード] を「高地」から「自動」にしてもなおらない。

□ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- □ オートフォーカス設定は「オン」に設定されている。
- □ フォーカスセンサ部とスクリーン間に障害物はない。
- □ 投写距離が1.5～5.5m以内である。
- □ 手動で調整しても合わない。

□ 音声が出ない
- □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
- □ 音量を調整してもなおらない。

その他

□ リモコンが利かない。
- □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。

□ 本体操作パネルのボタンが利かない。
[本体キーロック] 設定のある機種において
- □ 本体キーロックは「オフ」に設定されている。
- □ 本体の(EXIT)ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名 : ☐ **NP62J** ☐ **NP61J**
☐ **NP52J** ☐ **NP41J**

製造番号 :

購入時期 :

ランプ使用時間 :

ランプモード : ☐ノーマル ☐エコ

入力信号情報 :
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H ☐(+) ☐(−)
V ☐(+) ☐(−)
同期形態 ☐セパレート ☐ ミックス
☐Gシンク

STATUSインジケータの状態
点灯（オレンジ・緑)
点滅（ 回周期)

設置環境

スクリーンサイズ : 型
タイプ : ☐ホワイトマット ☐ビーズ ☐偏光
☐広視野角 ☐ハイコントラスト

投写距離 : m

投写方法 : ☐天吊り ☐床置き

電源コンセントは？
☐壁からのコンセントを直接利用している。
☐電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数 : 台）
☐電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数 : 台）

コンピュータ

メーカー :

形名 :

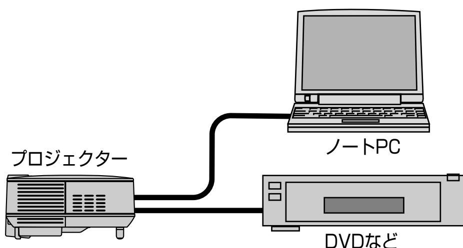
ノートＰＣ・デスクトップ一体型

解像度 :

リフレッシュレート :

ビデオボード :

その他 :



信号ケーブル

純正・その他
（形名 : 長さ : m）

分配器
形名 :

スイッチャ
形名 :

アダプタ
形名 :

接続機器

ビデオ ・ ＤＶＤ ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー :

形名 :

付録

8

海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介

この商品には、NEC ディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。
なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国の NEC ディスプレイソリューションズ指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。
本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話または E メールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙 "Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAX にて送信してください。
各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1　修理サービス

輸送期間を除く、実働 10 日以内に修理してお届けいたします。
保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2　代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。
料金：12 日間 US$ 200
料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。
代替機は、実働 3 日以内にお届けいたします。
ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。
また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (120ページ)にお問い合わせください。

保証期間

1 a　お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、またはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b　本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より 14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

1）保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き変えられた場合。
2）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
3）お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
4）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
5）高温・多湿の場所、車輌、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
6）本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
7）正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
8）ランプなどの消耗品、および添付品、別売品が故障および損傷した場合。
9）その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

	海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより 100-240V で使用可能です。 使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。 詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2008 年 7 月 1 日現在のものです。
最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページまたは当社 **ViewLight CLUB ホームページ**
http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/ をご覧ください。
また、詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター　0120-610-161
（受付 9：00 ～ 18：00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く）

〔欧州〕In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre
Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.
Telephone: +44 1952 237000
Fax Line: +44 1952 237006
Email Address: AFR@uk.neceur.com
WEB Address: http://www.neceur.com

（対応地域）<Regions Covered>
EU: Austria*, Belgium*, Bulgaria*, Czech Republic*, Cyprus*, Denmark*, Estonia*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Hungary*, Ireland*, Italy*, Latvia*, Lithuania*, Luxembourg*, Malta*, The Netherlands*, Poland*, Portugal*, Romania*, Slovakia*, Slovenia*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*
EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕In North America

NEC Display Solutions of America, Inc.
Address: 500 Park Boulevard, Suite 1100, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.
Telephone: +1 800 836 0655
Fax Line: +1 800 356 2415
Email Address: vsd.tech-support@necdisplay.com
WEB Address: http://www.necdisplay.com/

（対応地域）<Regions Covered>
U.S.A. *, Canada *

〔大洋州〕In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.
Address:
New South Wales;
Sydney
184 Milperra Road, Reversby NSW 2212
Telephone 131 632
Newcastle
120 Parry Street Newcastle West NSW 2302
Telephone 131 632
Victoria;
Melbourne
Unit 1/6 Garden Road, Clayton VIC 3168
Telephone 131 632
Queensland;
Brisbane
Unit 4/305 Montague Road West End QLD 4101
Telephone 131 632

Southport
Shop1 48 Ferry Road Southport QLD 4215
Telephone 131 632
South Australia;
Adelaide
84A Richmond Road, Keswick SA 5035
Telephone 131 632
Western Australia;
Perth
45 Sarich Court Osborne Park WA 6017
Telephone 131 632
WEB Address: http://www.nec.com.au
（対応地域）<Regions Covered>
Australia *, New Zealand

＊：代替機貸出サービスが受けられます。

〔アジア・中近東〕In Asia and Middle East

NEC Solutions (China) Co.,Ltd.
Address: Rm 1903, Shining Building, 35 Xueyuan Rd,
Haidian District Beijing 100083, P.R.C.
Telephone: +8610 82317788
Fax Line: +8610 82331722
Email Address: Lily@necsl.com.cn
Johnson_liu@necsl.com.cn
WEB Address: http://www.necsl.com.cn
（対応地域）<Regions Covered>
China

NEC Hong Kong Ltd.
Address: 25/F.,The Metropolis Tower, 10 Metropolis Drive, Hunghom,
Kowloon, Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: nechksc@nechk.nec.com.hk
esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: http://www.nec.com.hk
（対応地域）<Regions Covered>
Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.
Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1700
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: eric@nec.com.tw
WEB Address: http://www.nec.com.tw
（対応地域）<Regions Covered>
Taiwan

NEC Asia Pte. Ltd.
Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: ncare@nec.com.sg
WEB Address: http://www.nec.com.sg/ap
（対応地域）<Regions Covered>
Singapore

NEC Corporation of Malaysia Sdn. Bhd.

Address: 33rd Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,
50250 Kuala Lumpur, Malaysia
Telephone: +6 03 2178 3600 (ISDN)
Fax Line: +6 03 2178 3789
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp
WEB Address: http://www.necarecenter.com

（対応地域）<Regions Covered>
Malaysia

Hyosung ITX Co., Ltd

Address: 1st Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967
Telephone: +82 2 2163 4193
Fax Line: +82 2 2163 4196
Email Address: moneybear@hyosung.com

（対応地域）<Regions Covered>
South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark,
Bangkapi,Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: http://www.lensocom.com/

（対応地域）<Regions Covered>
Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

（対応地域）<Regions Covered>
United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: asif@samir-photo.com

Riyadh;
Address: P.O.Box 5519, Riyadh 11432, Saudi Arabia
Telephone: +966 1 4645064
Fax Line: +966 1 4657912
Email Address: bhimji@samir-photo.com

Alkhobar;
Address: P.O.Box 238, Alkhobar 31952, Saudi Arabia
Telephone: +966 3 8942674
Fax Line: +966 3 8948162
Email Address: chamsedin@samir-photo.com

（対応地域）<Regions Covered>
Saudi Arabia

Date: / / , P-1 / ,

TO: NEC Display Solutions' Authorized Service Station:

FM:

____

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.
Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for US$ 200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Display Solutions' Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Display Solutions' Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US$ 200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Display Solutions' Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Display Solutions' neglect, or fault including the following without limitation:

1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Display Solutions or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Display Solutions to adjust, modify, repair, install or service the product.
6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this “loan” replacement unit.
The current cost of use of this loan unit is US$ 200 for 12 calendar days.
If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Display Solutions' Authorized Service Stations.
Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the ‘loan’ unit.
If you return to their country of origin with the ‘loan’ unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

●商標について

・ ViewLight、ビューライトは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
・ Macintosh、PowerBook、Mac OS X は、米国Apple Inc. の登録商標です。
・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・ DLP（Digital Light Processing）、BrilliantColorはテキサス・インスツルメンツの商標です。
・ *Bluetooth*®は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
・ 本製品には、キヤノンアイテック株式会社、およびCanon Information Technologies Philippines, Inc.によって開発されたソフトウェア「UBQ-Blue® *Bluetooth*® protocol stack 2.0+EDR（QD ID：B010586）」が搭載されています。
「UBQ-Blue®」はキヤノンアイテック株式会社の登録商標です。
・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

落下保証について（保証と修理サービスの追加事項）

本製品には、プロジェクター保証書の保証規定第３項第３号の記載（下記※）にかかわらず、通常の保証に加え、「落下保証」が付いています。「落下保証」の保証内容は以下のとおりです。

プロジェクターの移動時の落下や、プロジェクターに衝撃を与えたことなどに起因する破損に対して、製品本体の無償保証期間中、１回に限り、当社にて無償で修理いたします。ただし、お客様が故意にプロジェクターに衝撃を与えた結果の破損につきましては、「落下保証」の対象外とさせていただきます。

詳しくはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

※プロジェクター保証書の保証規定第３項第３号の記載

３. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
（3） お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

・本体：お買い上げ日から1年間です。
・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
（1）お買い上げから6か月間。
（2）ランプ残量（92ページ）が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はNECプロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号： 0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（102ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（116、117ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従ってNECプロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	NEC データプロジェクター
形　名	NP62J/NP61J/NP52J/NP41J
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋
・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋
・引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161 **FAX 0120-134-516**

受付時間 9:00〜18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ **http://www.nec-display.com/support/projector/**

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料



● より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ **http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/**

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社

〒 108-0023 東京都港区芝浦四丁目 13 番 23 号（MS 芝浦ビル）